

BUSICOM



BC-NL3000U

卓上 QR コードリーダー

ユーザーガイド

ご注意

ご使用前に必ず本書をお読みください。

読み終わった後は、大切に保管し、必要なときに読み直しできるようにしてください。

本書の内容は、予告なく変更されることがあります。

いかなる手段によっても、本書の内容を無断で転写、転用、複写することを禁じます。

本書の運用結果につきましては、内容の記載漏れ、誤り、誤植などに関わらず、当社の一切の責任を負いかねます。

本書に指定されている製品以外の別売品を使用した場合の結果として発生したトラブルにつきまして、当社は一切の責任を負いかねます。

分解、修理は行わないでください。

分解や本体からシールラベルを取り外したりすると、製品の保証が無効になります。

お客様の誤った操作取り扱い、使用環境に起因する損害については責任を負いかねますので、ご了承ください。

本書の内容について記載漏れや誤り、不明点などがございましたらお買い求めの販売店へご連絡ください

。

マニュアル内の図は、実際の製品と異なる場合がございます。

乱丁、落丁はお取り替えいたします。

株式会社ビジコム

[東京本社]

TEL:03-5229-5190(代)

MAIL:info@busicom.co.jp

改訂履歴

バージョン	説明	日付
V1.0.0	初版	2017 年 10 月 5 日
V1.1.0	シリアル番号による VID / PID の値の違いを記載	2021 年 5 月 21 日



0006010

Enter Setup

目次

ご注意.....	3
改訂履歴.....	4
目次.....	1
はじめに.....	9
ユーザーガイドについて	9
BC-NL3000U-W スキャナ	10
バーコードリーダーの接続	11
USB 通信ケーブルでの使用	11
RS-232 通信ケーブルでの使用.....	11
電源 ON/OFF、スリープモード、リセット(再起動)の方法.....	12
バーコードリーダーの電源 ON/OFF.....	12
スリープモードについて	12
バーコードリーダーのリセット(再起動)	12
メンテナンス.....	12
寸法図 (単位: mm).....	12
スキャン手順.....	14
バーコードを使った、バーコードリーダーのセットアップ	15
工場出荷状態に戻す.....	16
設定の保存	16
製品情報の表示.....	16
第二章 通信インタフェース.....	17
RS-232 インタフェース	17
ボーレート	18
パリティチェック	19
データビット	19
データビットとパリティチェック	20
ストップビット.....	20
USB インタフェース USB ナンバリング管理.....	21
USB HID-KBW.....	21



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

キーボードの言語設定	22
読取り不可バーコード時の音設定	25
コード読取り後の転送速度設定	25
大文字/小文字変換	26
エミュレート Alt + キーパッド	27
ファンクションキーマッピング	28
テンキーパッドをエミュレートする	29
コードページ	29
USB COM (シリアル) インタフェース	30
USB HID-POS (USB キーボードインタフェース)	30
プログラムでバーコードリーダーにアクセスする	31
スキャンしたデータを取得する	31
バーコードリーダーにデータを送信する	31
VID/PID	32
第三章 スキャンモード	33
バッチモード	33
手動 (トリガー) 読取りマニュアル モード	34
読取り時のタイムアウト	34
レベルトリガー/パルストリガー	35
読取り時のタイムアウト設定 (同一バーコードの読取り不可)	36
紙面感知モード	37
読取りのタイムアウト	37
紙面検知 読取り時間設定	38
読取り時のタイムアウト	38
読取り後の設定	38
読取り時のタイムアウト設定 (同一バーコードの読取り不可)	39
感度設定	40
連続モード	41
読取り時のタイムアウト	41
読取り時のタイムアウト	41
第四章 スキャン設定	42
イントロダクション	42
読取り領域	42
全領域読取り	42



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

特定エリア読取り	42
読取り領域を指定する	43
第五章 イルミネーション	45
イルミネーション	45
第六章 ビープ音と LED 通知	46
電源投入時のビープ音設定	46
非プログラミングバーコードのビープ音の読取り	46
ビープ音の種類	47
ビープ音のボリューム	47
送信不能文字読取り時のビープ音設定	48
バーコード読取り時のビープ音	48
バーコード読取り時の音量設定	49
読取り成功時の LED 点灯設定	49
不正読取り時の設定	50
エラーメッセージを設定する	50
第七章 プリフィックス & サフィックス	51
全般設定	52
プリフィックス／サフィックスの有効／無効	52
プリフィックスシーケンス	52
カスタムプリフィックス	53
カスタムプリフィックスの有効／無効	53
カスタム・プリフィックスを設定する	53
AIM ID	54
Code ID	54
すべてのデフォルトコード ID を復元する	54
コード ID を変更する	55
カスタムサフィックス	58
カスタムサフィックスの有効／無効	58
カスタムサフィックスを設定する	58
終端文字	59
終端文字のサフィックスの有効／無効	59
終端文字の設定	60



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

第八章 各種バーコード	61
読取りコード設定	61
すべてのシンボル 有効／無効	61
1D バーコードの有効／無効.....	61
2D バーコード の有効／無効.....	61
反転機能.....	62
1D バーコード	63
Code 128 を工場出荷時に戻す	63
Code 128 の有効／無効.....	63
Code 128 の文字長 設定	63
GS1-128 (UCC/EAN-128)を工場出荷時設定に戻す	64
GS1-128 の有効／無効.....	64
GS1-128 の文字長 設定.....	64
AIM-128 を工場出荷時設定に戻す	65
AIM-128 の有効／無効.....	65
AIM-128 の文字長 設定	65
EAN-8 を工場出荷時設定に戻す	66
EAN-8 の有効／無効.....	66
チェックデジットの送信	66
アドオンコード.....	67
アドオンコード必須	68
EAN-8 拡張	68
EAN-13 を工場出荷時設定に戻す	69
EAN-13 の有効／無効.....	69
チェックデジットの送信.....	69
アドオンコード.....	70
アドオンコード必須	70
ISSN を工場出荷時設定に戻す	71
ISSN の有効／無効.....	71
アドオンコード.....	72
アドオンコード 必須.....	72
ISBN を工場出荷時設定に戻す	73
ISBN の有効／無効.....	73
ISBN 形式を設定する	73
アドオンコード.....	74
アドオンコード 必須.....	74



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

UPC-E を工場出荷時設定に戻す	75
UPC-E の有効／無効	75
チェックデジットの送信	75
アドオンコード	76
アドオンコード必須	76
システムキャラクターの送信	77
UPC-E 拡張	77
UPC-A を工場出荷時設定に戻す	78
UPC-A の有効／無効	78
チェックデジットの送信	78
アドオンコード	79
アドオンコード必須	79
プリアンブルキャラクターの送信	80
Interleaved 2 of 5 を工場出荷時設定に戻す	81
Interleaved 2 of 5 の有効／無効	81
Interleaved 2 of 5 の文字長 設定	81
チェックデジットを確認する	82
ITF-14	83
ITF-6	84
Matrix 2 of 5 を工場出荷時設定に戻す	85
Matrix 2 of 5 の有効／無効	85
Matrix 2 of 5 の文字長 設定	85
チェックデジットの確認	86
Industrial 2 of 5 を工場出荷時設定に戻す	87
Industrial 2 of 5 の有効／無効	87
Industrial 2 of 5 の文字長 設定	87
チェックデジットを確認する	88
Standard 2 of 5 (IATA 2 of 5) を工場出荷時設定に戻す	89
Standard 25 の有効／無効	89
Standard 25 の文字長 設定	89
チェックデジットを確認する	90
Code 39 を工場出荷時設定に戻す	91
Code 39 の有効／無効	91
スタート・ストップキャラクターの転送	91
Code 39 の文字長 設定	92
チェックデジットを確認する	92



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

Code 39 Full ASCII の有効／無効	92
NW7 (コーダーバー) を工場出荷時設定に戻す	93
NW7 (コーダーバー) の有効／無効	93
NW7 (コーダーバー) の文字長 設定	93
チェックデジットを確認する	94
スタート・ストップキャラクターの転送	94
スタート・ストップキャラクターのフォーマット	95
Code 93 を工場出荷時設定に戻す	96
Code 93 の有効／無効	96
Code 93 の文字長 設定	96
チェックデジットを確認する	97
GS1-Databar (RSS) を工場出荷時設定に戻す	98
GS1 Databar の有効／無効	98
アプリケーション識別子"01" 送信設定	98
Code 11 を工場出荷時設定に戻す	99
Code 11 の有効／無効	99
Code 11 の文字長 設定	99
チェックデジットの送信	100
チェックデジットを確認する	100
Plessey を工場出荷時設定に戻す	101
Plessey の有効／無効	101
Plessey の文字長 設定	101
チェックデジットを確認する	102
MSI-Plessey を工場出荷時設定に戻す	103
MSI-Plessey の有効／無効	103
MSI-Plessey の文字長 設定	103
チェックデジットの送信	104
チェックデジットを確認する	104
2D バーコード	105
PDF417 を工場出荷時設定に戻す	105
PDF417 の有効／無効	105
PDF417 の文字長 設定	105
PDF417 ツインコード	106
QR Code を工場出荷時設定に戻す	107
QR code の有効／無効	107
QR Code の文字長 設定	107



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

Micro QR.....	107
QR ツインコード.....	108
Data Matrix を工場出荷時設定に戻す.....	110
有効／無効 Data Matrix	110
Data Matrix の文字長 設定	110
長方形タイプ 設定	111
ミラー イメージの読取り	111
Data Matrix ツインコード	112
第九章 イメージコントロール.....	113
照明環境による設定	113
画像の反転	114
垂直方向に反転.....	115
水平方向に反転.....	115
第十章 トラブルシューティング	116
FAQ.....	116
付録.....	118
付録 1:工場出荷時の設定	118
付録 2:AIM ID テーブル	126
付録 3:コード ID テーブル.....	128
付録 4:ASCII テーブル.....	129
付録 5:パラメータプログラミングの例.....	133
A.読取り時モードタイムアウトをプログラムする	133
B.画像安定化タイムアウトをプログラムする	133
C.読取り時のタイムアウトをプログラムする(同じバーコード)	133
D.イルミネーション変更のしきい値を設定する.....	134
E.読取り時のタイムアウトをプログラムする.....	134
F.読取り領域をプログラムする	135
G.カスタムプリフィックス／サフィックスをプログラムする	135
H.終端文字をプログラムする.....	136
I.コード ID をプログラムする	136
J.不正な読取りメッセージをプログラムする.....	136
K. コードページをプログラムする	137
L.記号の長さの範囲(最大長/最小長)をプログラムする.....	137
M.スタムインターキーストロークの遅延をプログラムする	138



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

付録 6:桁数バーコード	139
付録 7:バーコードの保存/取り消し.....	141
付録 8:ASCII ファンクションキーマッピングテーブル	142
付録 9:コードページリスト	144



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

はじめに

BC-NL3000U-W デスクトップバーコードリーダーは、2D バーコードリーダーの新しい時代をもたらします。

BC-NL3000U-W の 2D バーコード・デコーダ・チップは、低消費電力で優れた性能と信頼性を提供します。

GS1-DataBar™ (RSS) (Limited / Stacked / Expanded バージョン) だけでなく、すべての 1D および、標準 2D バーコードシンボル (PDF417、QR コード M1 / M2 / Micro、データマトリックス) を読取れ、様々な媒体 (紙、プラスチックカード、携帯電話、LCD ディスプレイ) 上のバーコードを読み取ることができます。

ユーザーガイドについて

ユーザーガイドでは、BC-NL3000U-W のプログラミング手順を説明します。

BC-NL3000U-W は、通常使用であれば、ユーザーガイドの設定を使用することなく使用することができますが、ユーザーガイドに含まれているプログラミング用バーコードをスキャンする事で、BC-NL3000U-W の高度な設定が可能です。

出荷時の工場設定については、付録 1: 出荷時の設定確認、デフォルト表を参考にしてください

ユーザーガイド内の、アスタリスク(**) は工場出荷時のデフォルト値を表しています。



0006000

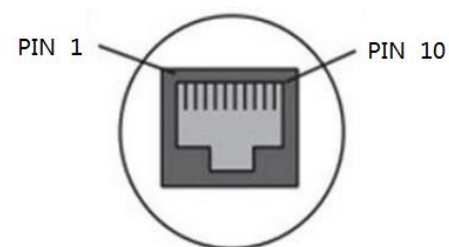
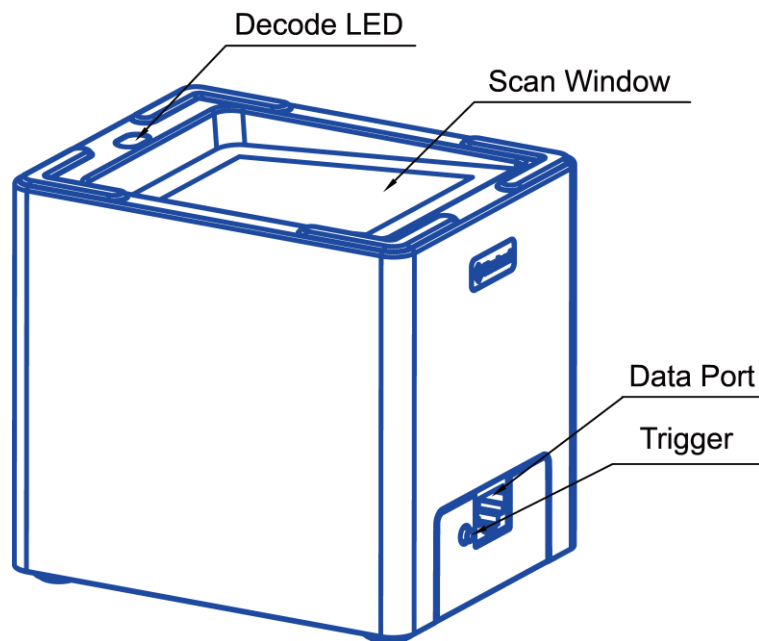
**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

BC-NL3000U-W スキャナ



Decode LED:

一度点滅:バーコードの正常読取り

PIN	シグナル	タイプ	ファンクション
1	NC	-	未接続
2	NC	-	未接続
3	VCC	P	電源電圧 DC5V
4	TXD	O	RS-232 送信データ
5	RXD	I	RS-232 受信データ
6	NC	-	未接続
7	NC	-	未接続
8	GND	P	グラウンド
9	D-	I/O	USB 信号
10	D+	I/O	



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

バーコードリーダーの接続

バーコードリーダーの接続は、通信ケーブル(USB TypeA または RS-232 ケーブル)を使用して、パソコン、POS、PAD、スマホなどに接続します。

USB

ホスト側の USB ポート



RS-232

ホスト側の RS-232 ポート



注)ホスト側のポートを確認して通信ケーブルを購入してください。

USB 通信ケーブルでの使用

ホストとの接続を USB で行う場合、コネクタが RJ45+USB の通信ケーブルを使用します。

1. RJ45 コネクタをバーコードリーダーのデータポートへ差し込みます。
2. USB コネクタをホスト側の USB ポートへ差し込みます。

※ ホストから USB 給電(DC5V)を受けて動作します。

RS-232 通信ケーブルでの使用

ホストとの接続を RS232C で行う場合、コネクタが RJ45+RS232C の通信ケーブルを使用します

1. RJ45 コネクタをバーコードリーダーのデータポートへ差し込みます。
2. RS-232C コネクタをホスト側の RS232C ポートへ差し込みます。
3. 付属の電源アダプタを RS-232C ケーブルの電源コネクタに接続します。



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

電源 ON/OFF、スリープモード、リセット(再起動)の方法

バーコードリーダーの電源 ON/OFF

USB 接続:バーコードリーダーをホストに接続する事で、電源が ON となり、ホストから通信ケーブルを取り外す事で電源が OFF となります。

RS232C 接続:電源アダプタが接続された状態で、バーコードリーダーをホストに接続する事で、電源 ON となり、電源アダプタを切断するか、ホストから通信ケーブルを取り外す事で電源 OFF となります。

スリープモードについて

スキャンを行っていない間、スリープモードへ移行します。

スリープモードであっても、コードをかざす事で、スキャンを行います。

バーコードリーダーのリセット(再起動)

バーコードリーダーの入力が応答しない場合や、異常な動作をする場合、電源の ON/OFF を行い、リセットを試みてください。改善が見られない場合、別途お問合せください。

メンテナンス

☆スキャンウィンドウ部分は、綺麗に保ってください

☆スキャンウィンドウを傷つけないでください

☆スキャンウィンドウの清掃には、柔らかい布、眼鏡やスマートフォン等のクリーニングクロス等で窓をきれいにしてください

☆スキャンウィンドウには液体をかけないでください

☆水以外の洗剤を使って、装置の他の部分を清掃しないでください

注) 不適切なメンテナンスにより故障した場合、製品保証の対象となる場合

寸法図 (単位: mm)

左側面図



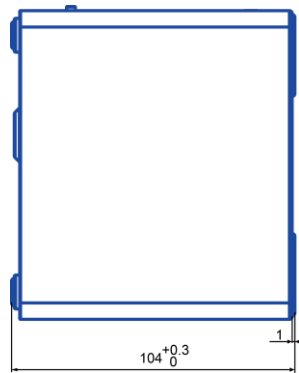
0006000

** Exit Setup

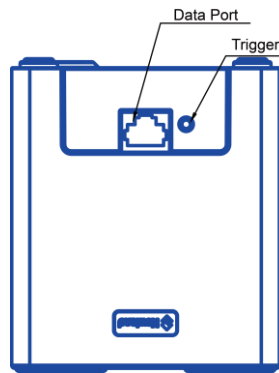


0006010

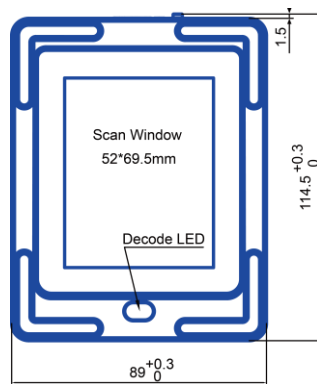
Enter Setup



前面图



天面图



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

スキャン手順

電源が **ON** になっている事を確認してください

(スキャンウィンドウに手などをかざし、白色の電灯が点灯すればスキャン可能です)

1. スキャンウィンドウ面に、コードを表示します
2. ビープ音が鳴り、読取りされたデータがホスト側に送信されます



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

バーコードを使った、バーコードリーダーのセットアップ

「設定開始」バーコードを読取る事で、バーコードリーダーがセットアップモードへ移行します。

セットアップモードを終了する場合は、「設定終了」バーコードを読取ります。

セットアップモードを終了している場合、セットアップモード開始の「設定開始」バーコードの読取り、工場出荷状態に戻す「工場出荷状態」バーコードを読取る事ができます。



0006010

設定開始



0006000

設定終了

プログラミングバーコードデータは、ホストに送信することができます。下記のバーコードをスキャンして、ホストにプログラミングバーコードデータの送信を有効または無効にします。

バーコードリーダーを再起動すると、プログラミングバーコードデータのホストへの送信が自動的に無効になります。



0002010

有効 プログラミングバーコードデータ 送信



0002000

** 無効 プログラミングバーコードデータ 送信



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

工場出荷状態に戻す

次のバーコードをスキャンすると、バーコードリーダーが工場出荷時の状態に復元されます。

詳細については、付録 1: 出荷時のデフォルトテーブルを参照してください。

注: この機能は慎重に使用してください



0001000

工場出荷状態

設定の保存

各種設定を行った後に「カスタマイズ設定の保存」バーコードを読取る事で、設定を行ったデータをバーコードリーダー本体に保存します。保存された設定データは、工場出荷状態に戻した場合でも「カスタマイズ設定の呼出し」バーコードを読取る事で、保存された各種設定データが呼び出され、バーコードリーダー本体に設定されます。
※工場出荷状態に戻した場合でも、カスタマイズ設定の保存を行ったデータは保護されます。



0001150

カスタマイズ設定の保存



0001160

カスタマイズ設定の呼出し

製品情報の表示

製品情報バーコードをスキャンする事で、バーコードリーダーの製品情報(ファームウェアのバージョン、モデル番号、シリアル番号、製造日など)を知ることができます。



9876537

製品情報



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

第二章 通信インタフェース

本バーコードリーダーは、RS-232 と USB のインタフェースを提供できます。ホストは、スキャンデータを受信し、バーコードリーダーを制御するためのコマンドを送信したり、スキャンデータを変更することができます。

RS-232 インタフェース

バーコードリーダーがホストの RS-232 ポートに接続されている場合は、以下の RS-232 バーコードをスキャンしてインタフェースを有効にし、さらに通信パラメータ(ボーレート、パリティチェック、データビット、ストップビットを含む)を ホストデバイスと一致するように設定します。



1100000

RS-232

デフォルトのシリアル通信パラメータを以下の通りです。すべてのパラメータがホスト要件と一致するように設定して下さい。

パラメータ	工場出荷時
ボーレート	9600
パリティチェック	なし
データビット	8
ストップビット	1
フロー制御	なし



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

ボーレート

ボーレートは、1 秒間に送信されるデータのビット数です。ホストに合わせてボーレートを設定します。



0100030

**** 9600**



0100000

1200



0100050

19200



0100010

2400



0100060

38400



0100020

4800



0100070

57600



0100040

14400



0100080

115200



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

パリティチェック

データビットの数が7に設定されている場合、偶数パリティまたは奇数パリティのみを選択できます。このオプションでは、偶数パリティとなります。



0101000

**パリティなし



0101010

偶数パリティ



0101020

奇数パリティ

データビット

データビット数が7に設定されている場合、偶数パリティまたは奇数パリティのいずれかを選択することしかできません。



0103020

7 データビット



0103030

** 8 データビット



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

データビットとパリティチェック



0105010

7 データビット/偶数パリティ



0105020

7 データビット/奇数パリティ



0105030

** 8 データビット/ パリティなし



0105040

8 データビット/偶数パリティ



0105050

8 データビット/奇数パリティ

ストップビット



0102000

** 1 ストップビット



0102010

2 ストップビット



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

USB インタフェース

USB ナンバリング管理

バーコードリーダーが USB 接続を介してホストに接続されている場合、電源投入後 S / N または "00000000"を使用してバーコードリーダーに個別のナンバリング管理ができます。(Windows の場合、デバイスマネージャーにナンバリングが表示されます。) S / N を使用したナンバリング管理により、複数、同型のバーコードリーダーを接続していても、ホストデバイスは区別できます。 "00000000"を使用したナンバリング管理は、同型のバーコードリーダー間でホストデバイスの使用を無効にします。ドライバのインストールは、各バーコードリーダー毎に必要です。



1100210

Enumeration Using S/N



1100200

** Enumeration Using "00000000"

USB HID-KBW

USB 接続の場合、下のバーコードをスキャンして USB HID-KBW 機能を有効にできます。バーコードリーダーの送信は、USB キーボード入力としてシミュレートされます。この機能は、プラグアンドプレイで動作し、ドライバは必要ありません。



1100020

** USB HID-KBW



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

キーボードの言語設定

キーボードの言語設定のデフォルト設定は「JAPAN」です。



1103201

U.S.



1103202

Belgium



1103203

Brazil



1103204

Canada



1103205

Czechoslovakia



1103206

Denmark



1103207

Finland



1103208

France



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup



1103209

Germany, Austria



1103210

Greece



1103211

Hungary



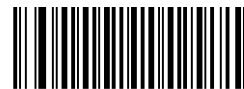
1103212

Israel



1103213

Italy



1103214

Latin America, South America



1103215

Netherlands



1103216

Norway



1103217

Poland



1103218

Portugal



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup



1103219

Romania



1103220

Russia



1103221

Slovakia



1103222

Spain



1103223

Sweden



1103224

Switzerland



1103225

Turkey_F



1103226

Turkey_Q



1103227

UK



1103228

**** Japan**



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

読取り不可バーコード時の音設定

キーボードレイアウトの違いにより、バーコードリーダーが読取りできない文字のバーコードを検知した場合にビープ音を鳴らすかの設定を行います



1103031

読取り不可の場合音を鳴らす



1103030

****読取り不可の場合音を鳴らさない**

コード読取り後の転送速度設定

バーコードの読取り後の転送速度 10ms(デフォルト)を遅らせます。

デフォルトから+10ms、+30ms 以外の設定を行う場合「遅延のカスタマイズ」を読取ります。

設定を行う場合、付録 5 を参照して設定してください。



1103050

遅延無し(10ms)



1103051

遅延+10ms (20ms)



1103052

遅延+30ms (40ms)



1103053

遅延のカスタマイズ



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

大文字/小文字変換

読取ったコードの大文字や小文字を変換してホストへ送信します



1103040

**変換しない



1103043

大文字と小文字を反転



1103041

全て大文字に変換



1103042

全て小文字に変換

例)「全て小文字に変換」で、設定した場合「ABC」を「abc」に変換して送信します



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

エミュレート Alt + キーパッド

この機能は、どのキーボードタイプが選択されていても、テンキーパッドで ASCII 文字 (0x00～0xFF) を送信することができます。キャラクタの送信には複数のキーストロークエミュレーションが必要なため、この方法はあまり効率的ではありません。

次のオプションを使用できます。

- **無効:** Alt キー+キーパッドの方法で ASCII 文字は送信されません。
- **モード 1:** 選択されたキーボードタイプではサポートされていないが 0x20～0xFF に該当する ASCII 文字は Alt + Keypad の方法で送信されます。
- **モード 2:** 0x20～0xFF に該当する ASCII 文字は、ALT + キーパッドの方法で送信されます。
- **モード 3:** すべての ASCII 文字 (0x00～0xFF) は Alt キー+キーパッドで送信されます。

注: ファンクションキーマッピングとモード 3 が矛盾する場合、ファンクションキーマッピングが優先されます。



1103060

** 無効



1103061

モード 1



1103062

モード 2



1103063

モード 3

例: US キーボードを選択すると、バーコードデータ "ADF" (65/208/70) が次のように送信されます。

(1) モード 1 が有効な場合

"A" - Keystroke "A"

"D" - "ALT Make" + "208" + "ALT Break"

"F" - Keystroke "F"

(2) モード 3 が有効な場合

"A" - "ALT Make" + "065" + "ALT Break"

"D" - "ALT Make" + "208" + "ALT Break"

"F" - "ALT Make" + "070" + "ALT Break"



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

ファンクションキーマッピング

ファンクションキーマッピングが有効な場合、ファンクション文字 (0x00~0x1F) が ASCII シーケンスとしてキーボードに送信されます。詳細については、付録 8: ASCII ファンクションキーマッピングテーブルを参照してください。



1103140

有効 ファンクションキーマッピング



1103130

** 無効 ファンクションキーマッピング

例：バーコードデータ 0x16 の場合

 T	有効 ファンクションキーマッピング	Ctrl+V
	無効 ファンクションキーマッピング	F1



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

テンキーパッドをエミュレートする

この機能が無効の場合、バーコードデータはメインキーボードのキーストロークとしてエミュレートされます。この機能を有効にするには、エミュレートテンキーのバーコードをスキャンします。 "+", "- ", "*", "/", および "." のような他の文字を送信するのに対し、テンキーキーパッドではキーストロークとしてエミュレートされます。



1103110

****無効 テンキーパット エミュレート設定**

1103120

有効 テンキーパット エミュレート設定

コードページ

多言語対応のため、コードページプログラミング機能が提供されています。この機能は、Alt キー+キーパッドで ASCII 文字を送信する場合にのみ有効です。コードページをプログラミングするには、数値のバーコードをスキャンする必要があります(詳細については、付録 9:コードページリストを参照してください)。デフォルトのコードページは#Windows 1252(ラテン語 I)です。プログラム方法については、付録 5 を参照してください。



1103180

コードページ設定

0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

USB COM(シリアル)インタフェース

仮想シリアルポート(COM ポート)でシリアル通信を利用するための設定です。

専用のドライバを使い、ホストに仮想シリアルポート(COM ポート)を構築し、通信をシリアル通信とします。

※この機能を使用する場合、ドライバが必要となります



1100060

USB COM ポートエミュレーション

USB HID-POS(USB キーボードインタフェース)

USB-HID は、特別なドライバのインストールは不要で、オペレーティングシステムに標準搭載されているキーボードドライバを使用しますので、USB を接続するだけで使用できます

読取ったコードは、アプリケーションのカーソル表示部分へ送信されます



1100080

USB HID-POS



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

プログラムでバーコードリーダーにアクセスする

CreateFile を使用してバーコードリーダーを HID デバイスとして接続し、次に ReadFile を使用してスキャンしたデータをアプリケーションプログラムに配信します。WriteFile を使用して、バーコードリーダーにデータを送信します。

USB および HID インタフェースの詳細については、www.USB.org を参照してください。

スキャンしたデータを取得する

バーコードをスキャンした後に、バーコードリーダーは次の入力レポートを送信します。

	Bit							
バイト	7	6	5	4	3	2	1	0
0	Report ID = 0x02							
1	Length of the barcode							
2-57	Decoded data (1-56)							
58-60	AIM ID							
61-62	Reserved							
63	-	-	-	-	-	-	-	Decoded Data

バーコードリーダーにデータを送信する

この出力レポートは、データをバーコードリーダーに送信するために使用されます。すべてのプログラミングコマンドを使用できます。

	Bit							
バイト	7	6	5	4	3	2	1	0
0	Report ID = 0x04							
1	Length of the output data							
2-63	Output data (1-62)							



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

VID/PID

USB は VID (ベンダ ID) と PID (プロダクト ID) を使用してデバイスを識別し、位置を特定します。VID は USB Implementers Forum によって割り当てられます。本バーコードリーダーのベンダーID は 1EAB (Hex) です。各インターフェースには PID が割り当てられます。

Product	インターフェース	PID (Hex)		PID (Dec)
EM3070	USB HID-KBW	1303		4867
	USB COM ポート エミュレーション	シリアルが [W2012 ~] で始まるもの	1A06	4870
		シリアルが以下から始まるもの [FE7L ~] [B000 ~] [W1909 ~] [B1909 ~]	1306	
	USB HID-POS	1310		4880

注: USB COM ポートエミュレーションの PID (Hex) は、ファームウェアを最新版にするとシリアル番号に関係なく、「1A06」になります。



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

第三章 スキャンモード

バッチモード

トリガーボタンを押すことで、複数の読取りモードを連続的に有効にします。トリガを放すまで、複数回のスキャンができます。但し、同じバーコードは、読み込みしません。



0302003

バッチモード



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

手動(トリガー)読取りマニュアル モード

接続ポート横のトリガーを押す事で読取りを行います



0302000

マニュアル モード

読取り時のタイムアウト

読取り時のタイムアウト設定ができます。設定の範囲は、100ms～3,600,000ms まで 1ms 毎に設定可能です。0に設定すると、タイムアウトは無限になります。(デフォルト設定:3,000ms)この設定を行う場合、付録5を参照してください。



0313000

読取りモード タイムアウト



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

レベルトリガー/パルストリガー

レベルトリガー: 読取りモードは一定のアクティブトリガ信号によって起動され続けます。バーコードが解読されたり、読取り時のタイムアウトが切れると、読取りモードは終了します。

パルストリガー: 読取りモードは、トリガ信号の電気パルスによって起動されます。読取りモードは、バーコードが解読されるか、読取り時のタイムアウトが切れるまで続きます。



0313090

**** レベルトリガー**



0313091

パルストリガー

以下の設定は、バーコードリーダーがスリープモードになる時間を指定します。0ms から 65,535ms まで 1ms 刻みで設定可能です。デフォルト設定は 500ms です。この設定を行う場合、付録 5 を参照してください。



0313050

スリープまでの時間 設定



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

読取り時のタイムアウト設定(同一バーコードの読取り不可)

読取り時のタイムアウト設定(同一バーコードの読取り不可)は、意図しない同一バーコードを一定時間内に再読み込みしないようにできます。

読取り時のタイムアウト設定を有効または無効にするには、以下のバーコードをスキャンします。

有効 読取り時のタイムアウト設定:一定時間内に、同じバーコードをバーコードリーダーが再び読み取らないようにします。

無効 読取り時のタイムアウト設定:同じバーコードを再読取りできるようにします。



0313161

**** 無効 読取り時のタイムアウト設定**

0313171

有効 読取り時のタイムアウト設定

この設定は、同じバーコードの読取り時のタイムアウトを設定します。0ms から 65,535ms まで 1ms 刻みで設定可能です。デフォルト設定は 1,500ms です。

この設定を行う場合、付録 5 を参照してください。



0313010

読取り時のタイムアウト 設定

0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

紙面感知モード

本バーコードリーダーは、周囲照明の変化を検出により、紙面検知をして自動的に読取りする設定ができます。

読取りは、バーコードが読取りされるか、読取りのタイムアウトまで続きます。

紙面感知モードでは、トリガーボタンを押すことで読取りを有効にすることができます。読取りは、バーコードが読取りされるかトリガーが離されるまで続きます。読取りが完了すると、バーコードリーダーは周囲照明を監視し続けます。



0302010

****紙面感知モード**

読取りのタイムアウト

この設定は、読取りのタイムアウトを設定します。0ms から 65,535ms まで 1ms 刻みで設定可能です。デフォルト設定は 1,500ms です。

この設定を行う場合、付録 5 を参照してください。



0313000

読取りモード タイムアウト



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

紙面検知 読取り時間設定

この設定は、紙面検知の読取り時間を定義します。0ms から 1,600ms まで 1ms 刻みで設定可能です。デフォルト設定は 100ms です。

この設定を行う場合、付録 5 を参照してください。



0313120

画像安定化タイムアウト

読取り時のタイムアウト

この設定は、読取り時のタイムアウトを設定します。読取りが終了すると、タイムアウトが切れるまで次の読取りを行いません。0ms から 65,535ms まで 1ms 刻みで設定可能です。デフォルト設定は 200ms です。

この設定を行う場合、付録 5 を参照してください。



0313040

読取り時のタイムアウト

読取り後の設定

読取り時 続行: スキャン後、次の読取りを開始します。

読取り時 一時停止: スキャン後に、照明監視を開始します。



0313130

**読取り時 一時停止



0313131

読取り時 続行



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

読取り時のタイムアウト設定(同一バーコードの読取り不可)

読取り時のタイムアウト設定(同一バーコードの読取り不可)は、意図しない同一バーコードを一定時間内に再読みしないようにできます。

読取り時のタイムアウト設定を有効または無効にするには、以下のバーコードをスキャンします。

有効 読取り時のタイムアウト設定: 一定時間内に、同じバーコードをバーコードリーダーが再び読み取らないようにします。

無効 読取り時のタイムアウト設定: 同じバーコードを再読取りできるようにします。



0313020

****無効 読取り時のタイムアウト設定
(同じバーコード)**



0313030

**有効 読取り時のタイムアウト設定
(同じバーコード)**

この設定は、同じバーコードの読取り時のタイムアウトを設定します。0ms から 65,535ms まで 1ms 刻みで設定可能です。デフォルト設定は 1,500ms です。



0313010

読取り時のタイムアウト設定 (同じバーコード)



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

感度設定

感度設定は、照明の変化に対してスキャンの感度を指定できます。感度が高ければ高いほど、照明の要件が低くなり、バーコードリーダーが起動されやすくなります。環境に適した適切な感度を選択して下さい。



0312010

感度 中



0312000

感度 低



0312020

感度 高



0312030

感度 強化

上記、4つの設定でも問題が起きる場合、明るさのしきい値を設定することができます。バーコードリーダーは、しきい値に達する明るさになると読取りモードを開始させます。しきい値が低いほど、バーコードリーダーの感度が高くなります。デフォルトのしきい値は2です。この設定を行う場合、付録5を参照してください。



0312040

イルミネーション変更のしきい値(1-20)



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

連続モード

連続モードが有効になっていると、バーコードリーダーは自動的に読取りモードを開始します。バーコード読取りを中断/再開するには、トリガーボタンを押します。



0302020

連続モード

読取り時のタイムアウト

この設定は、読取り時のタイムアウトを設定します。100ms から 3,600,000ms まで 1ms 刻みで設定可能です。0 に設定すると、タイムアウトは無限になります。デフォルト設定は 3,000ms です。
この設定を行う場合、付録 5 を参照してください。



0313000

読取りモード タイムアウト

読取り時のタイムアウト

この設定は、読取り時のタイムアウトを設定します。読み込みが終了すると、読取り時のタイムアウトが切れるまで次のセッションは発生しません。0ms から 65,535ms まで 1ms 刻みで設定可能です。デフォルト設定は 200ms です。この設定を行う場合、付録 5 を参照してください。



0313040

読取り時のタイムアウト



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

第四章 スキャン設定

イントロダクション

この章では、環境設定でさまざまなアプリケーションにバーコードリーダーを適応させる方法について説明します。例えば、バーコードリーダーの視野を狭めて、ユーザが意図したバーコードのみを読み取るようにする。

読取り領域

全領域読取り

この設定が[有効]の場合、バーコードリーダーは視野内のバーコードを中央から周辺に読取りしようとし、最初に読取りされたバーコードを送信します。



0322000

****全領域読取り**

特定エリア読取り

この設定を使用すると、バーコードリーダーが視野を狭めて、ユーザが意図したバーコードのみを読み取るようにすることができます。例えば、複数のバーコードが密接に一緒に配置されている場合、読取り領域を調整して希望したバーコードのみが読み取る事が可能です。



0322010

特定エリア読取り

0006000

**** Exit Setup**



0006010

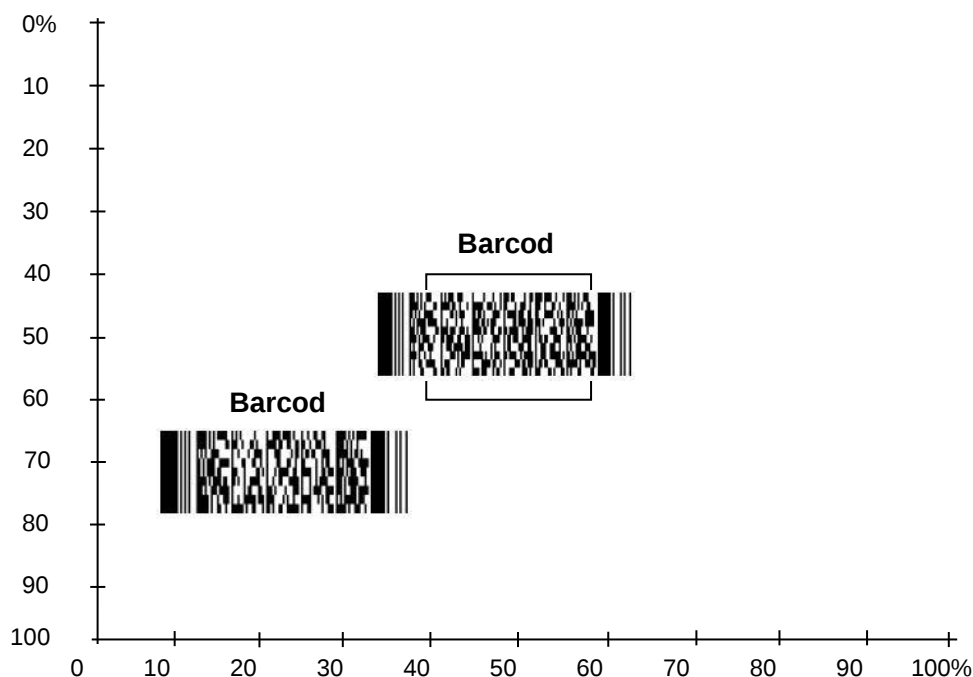
Enter Setup

読取り領域を指定する

特定の領域の読取りが有効な場合、スキャナはあらかじめ定義された読取り領域と交差するバーコードのみを読取ります。

下の図に示すように、デフォルトの読取り領域は、スキャナの視野の上部 40%、下部 60%、左 40%、右 60%の領域です。次の例では、白いボックスが読取り領域です。バーコード 1 は復号領域を通過するので、それが読み取られます。バーコード 2 は読取り領域を通過しないため、読み取られません。

読取り領域の最上部、読取り領域の最下部、読取り領域の左および読取り領域の右端のバーコード、および希望のパーセンテージ(0~100)を表す数字のバーコードを使用して、読取り領域を定義できます。読取り領域のプログラム方法については、付録 5 を参照してください。



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup



0322030

読取り領域 上部



0322040

読取り領域 下部



0322050

読取り領域 左部



0322060

読取り領域 右部



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

第五章 イルミネーション

イルミネーション

画像取り込み中の照明設定をすることが可能です。

通常：画像取り込み中にLEDが点灯します。

常時点灯：LEDは常に点灯します。

無効：LEDは常に消灯になります。



0200000

**** 通常**



0200020

無効



0200010

常時点灯



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

第六章 ビープ音と LED 通知

電源投入時のビープ音設定

電源投入時のビープ音設定



0204001

** 有効



0204000

無効

非プログラミングバーコードのビープ音の読取り

以下のバーコードをスキャンし有効にするか、プログラミングされていないバーコードが読み取ったときにビープ音を鳴らします。ビープ音の種類(周波数)と音量を設定できます。



0203010

** 有効



0203000

無効



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

ビープ音の種類



0203020

タイプ1



0203022

** タイプ3



0203021

タイプ2

ビープ音のボリューム



0203030

** 音量 大



0203032

音量 小



0203031

音量 中



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

送信不能文字読取り時のビープ音設定

キーボードレイアウトの違いで、バーコードデータに含まれる一部の文字が、設定したキーボード(USB HID-KBW)で使用できない場合、文字を送信することができません。

送信不能文字読取り時のビープ音を有効または無効にします。



1103031

音を鳴らす



1103030

** 音を鳴らさない

バーコード読取り時のビープ音



0203041

** 有効



0203040

無効



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

バーコード読取り時の音量設定



0208040

****音量 大**



0208042

音量 小



0208041

音量 中

読取り成功時の LED 点灯設定



0206011

**** 有効**



0206010

無効



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

不正読取り時の設定

バーコードが読取りできない場合、ユーザーが定義したエラーメッセージを送信するかどうかを選択します。



0320010

有効 読取り失敗時 メッセージ



0320000

**無効 読取り失敗時 メッセージ

エラーメッセージを設定する

バーコードが読取りできない場合に、ユーザーが定義したエラーメッセージを送信するには、Set Bad Read Message バーコードをスキャン。目的の文字の ASCII 16 進値に対応する数値バーコードをスキャン。Save バーコードをスキャンします。

エラーメッセージは、0～7 文字を指定できます。



0320020

読取り失敗時 メッセージ設定



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

第七章 プリフィックス & サフィックス

多くのアプリケーションでは、バーコードデータを編集して区別する必要があります。

通常、AIM ID とコード ID を識別子として使用できますが、特別な場合には、カスタマイズされたプリフィックスとサフィックス(キャリッジリターンや改行など)を使用することもできます。

データの編集方法:

- 読取りされたデータの前に AIM ID /コード ID /カスタムプリフィックスを付加する。
- 読取りされたデータの後にカスタムサフィックスを追加する。
- 読取りされたデータの終端に文字を付加する。

バーコードデータを編集するときは、以下のフォーマットを使用できます。:

- [コード ID] + [カスタムプリフィックス] + [AIM ID] + [データ] + [カスタムサフィックス] + [終端文字]
- [カスタムプリフィックス] + [コード ID] + [AIM ID] + [データ] + [カスタムサフィックス] + [終端文字]

注:[データ]は必ず送信しますが、残りの上記部分は送信するかどうかを決定できます。



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

全般設定

プリフィックス／サフィックスの有効／無効

- ・無効 プリフィックス／サフィックス: プリフィックス/サフィックスなしのバーコードデータを送信する。
- ・有効 プリフィックス／サフィックス: 送信前にコード ID プリフィックス、AIM ID プリフィックス、カスタムプリフィックス／サフィックスと終端文字をバーコードデータに付加することができます。



0311010

有効 すべてのプリフィックス／サフィックス



0311000

無効 すべてのプリフィックス／サフィックス

プリフィックスシーケンス



0317010

Code ID+カスタムプリフィックス+AIM ID



0317040

** カスタムプリフィックス+Code ID+AIM ID



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

カスタムプリフィックス

カスタムプリフィックスの有効／無効

カスタムプリフィックスが有効な場合は、10文字以下のプリフィックスをデータに追加することができます。



0305010

有効 カスタムプリフィックス



0305000

** 無効 カスタムプリフィックス

カスタム・プリフィックスを設定する

カスタムプリフィックスを設定するには、カスタムプリセットバーコードの設定と目的のプリフィックスの16進数値を表す数値バーコードをスキャンし、保存バーコードをスキャンします。文字の16進値については付録4:ASCIIテーブルを参照してください。設定例を表示するには、付録5:パラメータプログラミングの例を参照してください。

注:カスタムプリフィックスは10文字以下までしか設定できません。



0300000

カスタムプリフィックス 設定



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

AIM ID

AIM (Automatic Identification Manufacturers) ID と ISO / IEC 15424 規格は、シンボル識別子とデータキャリア識別子を定義しています。（詳細については、付録 2: AIM ID テーブルを参照してください。AIM ID プリフィックスが有効な場合、バーコードリーダーは読取り後にスキャンされたデータの前にシンボル識別子を追加します。



0308030

有効 AIM ID



0308000

** 無効 AIM ID

Code ID

バーコードタイプを識別するためにコード ID を使用することもできます。AIM ID とは異なり、コード ID はユーザーがプログラムできます。コード ID は、1 つまたは 2 つの英字でのみ構成できます。



0307010

有効 Code ID



0307000

** 無効 Code ID

すべてのデフォルトコード ID を復元する

デフォルトコード ID の情報については、付録 3: コード ID テーブルを参照してください。



0307020

すべてのデフォルトコード ID 復元



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

コード ID を変更する

シンボルのコード ID を変更するには、下の適切なコード ID バーコードと目的のコード ID の 16 進数値を表す数値バーコードをスキャンし、保存バーコードをスキャンします。文字の 16 進値については付録 4:ASCII テーブルを参照してください。設定例を表示するには、付録 5:パラメータプログラミングの例を参照してください。



0005000

PDF417 コード ID 変更



0005030

Data Matrix コード ID 変更



0005010

QR Code コード ID 変更



0004020

Code 128 コード ID 変更



0004030

GS1-128 コード ID 変更



0004210

AIM-128 コード ID 変更



0004040

EAN-8 コード ID 変更



0004050

EAN-13 コード ID 変更



0004060

UPC-E コード ID 変更



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup



0004070

UPC-A コード ID 変更



0004240

ISBN コード ID 変更



0004230

ISSN コード ID 変更



0004130

Code 39 コード ID 変更



0004170

Code 93 コード ID 変更



0004080

Interleaved 2 of 5 コード ID 変更



0004090

ITF-14 コード ID 変更



0004100

ITF-6 コード ID 変更



0004150

NW7(コーダーバー)コード ID 変更



0004250

Industrial 25 コード ID 変更



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup



0004260

Standard 25 コード ID 変更



0004110

Matrix 25 コード ID 変更



0004220

COOP 25 コード ID 変更



0004280

Code 11 コード ID 変更



0004270

Plessey コード ID 変更



0004290

MSI-Plessey コード ID 変更



0004310

GS1 Databar コード ID 変更



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

カスタムサフィックス

カスタムサフィックスの有効／無効

カスタムサフィックスが有効な場合は、10文字以下のサフィックスをデータに追加することができます。



0306010

有効 カスタムサフィックス



0306000

** 無効 カスタムサフィックス

カスタムサフィックスを設定する

カスタムサフィックスを設定するには、 カスタムサフィックス設定バーコードとプリフィックスの 16 進数値を表す数字のバーコードをスキャンし、保存バーコードをスキャンします。文字の 16 進値については付録 4:ASCII テーブルを参照してください。設定例を表示するには、付録 5:パラメータプログラミングの例を参照してください。

注:カスタムプリフィックスは 10文字以下までしか設定できません。



0301000

カスタムサフィックス 設定



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

終端文字

終端文字は、データの終わりを示すために使用できます。終端文字サフィックスには 1～7 文字を使用できます。

終端文字のサフィックスの有効／無効

終端文字のサフィックスを有効/無効にするには、以下の該当するバーコードをスキャンします。



0309010

**** 有効 終端文字**



0309000

無効 終端文字



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

終端文字の設定

終端文字サフィックスを CR (0x0D) または CRLF (0x0D, 0x0A) に設定できます。下の適切なバーコードをスキャンすることで有効にしてください。



0310010

終端文字 CR (0x0D)



0310020

** 終端文字 CRLF (0x0D,0x0A)

終端文字を設定するには、「終端文字の設定」バーコードと、終端文字の 16 進数値を表す数値バーコードをスキャンして、「保存」バーコードをスキャンします。終端文字の 16 進値については、付録 4: ASCII テーブルを参照してください。設定例を表示するには、付録 5: パラメータプログラミングの例を参照してください。

注: 終端文字は 7 文字を超えることはできません。



0310000

終端文字 設定



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

第八章 各種バーコード

読取りコード設定

すべてのシンボル 有効／無効

[すべてのシンボルを無効]を設定した場合、バーコードリーダーはプログラミングバーコード以外の非プログラミングバーコードを読み取ることはできません。



0001020

有効 すべてのシンボル



0001010

無効 すべてのシンボル

1D バーコードの有効／無効

[1D バーコード 無効]を設定した場合、バーコードリーダーは 1D バーコードを読み取ることができません。



0001040

有効 1D バーコード



0001030

無効 1D バーコード

2D バーコード の有効／無効

[2D バーコード 無効]を設定した場合、バーコードリーダーは 2D バーコードを読み取ることができません。



0001060

有効 2D バーコード



0001050

無効 2D バーコード



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

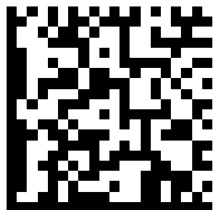
反転機能

反転機能は 2D バーコードにのみ適用されます。

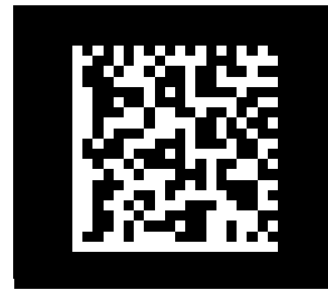
通常バーコード: 明るい背景の暗い画像。

反転バーコード: 暗い背景に明るい画像。

通常のバーコードと反転バーコードの例を以下に示します。



通常バーコード



反転バーコード

反転機能を使用すると、バーコードリーダーは反転されたバーコードを読み取ることができます。

反転機能 ON: 通常のバーコードと反転バーコードの両方を読取ります。

反転機能 OFF: 通常のバーコードのみを読取ります。

反転機能 ON の場合、バーコードリーダーのスキャン速度はわずかに低下します。



0001021

反転機能 ON



0001011

**反転機能 OFF



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

1D バーコード

Code 128 を工場出荷時に戻す



0400000

Code 128 を工場出荷時に戻す

Code 128 の有効／無効



0400020

**有効 Code 128



0400010

無効 Code 128

Code 128 の文字長 設定



0400030

最小桁数の設定



0400040

最大桁数の設定



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

GS1-128 (UCC/EAN-128)を工場出荷時設定に戻す



0412000

GS1-128 を工場出荷時のデフォルトに戻す

GS1-128 の有効／無効



0412020

** 有効 GS1-128



0412010

無効 GS1-128

GS1-128 の文字長 設定



0412030

最小桁数の設定



0412040

最大桁数の設定



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

AIM-128 を工場出荷時設定に戻す



0423000

AIM-128 を工場出荷時のデフォルトに戻す

AIM-128 の有効／無効



0423020

** 有効 AIM-128



0423010

無効 AIM-128

AIM-128 の文字長 設定



0423030

最小桁数の設定



0423040

最大桁数の設定



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

EAN-8 を工場出荷時設定に戻す



0401000

EAN-8 を工場出荷時のデフォルトに戻す

EAN-8 の有効／無効



0401020

** 有効 EAN-8



0401010

無効 EAN-8

チェックデジットの送信

EAN-8 の長さは 8 桁です。最後の 1 文字がチェックデジットとなりデータの整合性を検証するために使用されます。



0401040

** Transmit EAN-8 チェックデジット



0401030

Do Not Transmit EAN-8 チェックデジット



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

アドオンコード

EAN-8 バーコードは、2 桁または 5 桁のアドオンコードで補完して新しいものを作成することができます。下の例では、青い点線で囲まれた部分が EAN-8 のバーコードであり、赤い点線の部分がアドオンコードです。



0401060

有効 2 桁 アドオンコード



0401050

** 無効 2 桁 アドオンコード



0401080

有効 5 桁 アドオンコード



0401070

** 無効 5 桁 アドオンコード

2 桁／5 桁 アドオンコード有効: キャナは、2 桁／5 桁のアドオンコードの有無にかかわらず、EAN-8 バーコードの組み合わせを読取りします。

2 桁／5 桁 アドオンコード無効: スキャナは EAN-8 を読取りし、EAN-8 plus アドオンバーコードが表示されている場合はアドオンコードを無視します。また、アドオンコードなしで EAN-8 バーコードを読取りすることもできます。



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

アドオンコード必須

EAN-8 アドオンコード必須を選択すると、スキャナーはアドオンコードを含む EAN-8 バーコードのみ読取ります。



0401110

有効 EAN-8 アドオンコード必須:



0401120

****無効** EAN-8 アドオンコード必須

EAN-8 拡張

EAN-8 ゼロ拡張 無効: EAN-8 バーコードをそのまま送信します。

EAN-8 ゼロ拡張 有効: 読取りされた EAN-8 バーコードにゼロを追記して 13 桁に拡張します。



0401100

有効 EAN-8 ゼロ拡張



0401090

****無効** EAN-8 ゼロ拡張



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

EAN-13 を工場出荷時設定に戻す



0402000

EAN-13 を工場出荷時のデフォルトに戻す

EAN-13 の有効／無効



0402020

** 有効 EAN-13



0402010

無効 EAN-13

チェックデジットの送信



0402040

**有効 EAN-13 チェックデジット転送



0402030

無効 EAN-13 チェックデジット転送



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

アドオンコード

EAN-13 バーコードは、2桁または5桁のアドオンコードで補完して新しいものを作成することができます。



0402060

有効 2桁 アドオンコード



0402050

** 無効 2桁 アドオンコード



0402080

有効 5桁 アドオンコード



0402070

** 無効 5桁 アドオンコード

有効 2桁 / 5桁 アドオンコード: スキャナは、2桁/5桁のアドオンコードの有無にかかわらず、EAN-13 バーコードの組み合わせを読み取りします。

無効 2桁 / 5桁 アドオンコード: スキャナは EAN-13を読み取りし、EAN-13 plus アドオンバーコードが提示されている場合はアドオンコードを無視します。また、アドオンコードなしで EAN-13 バーコードを読み取りすることもできます。

アドオンコード必須

EAN-13 アドオンコード必須を選択すると、スキャナはアドオンコードを含む EAN-13 バーコードのみ読み取ります。



0402090

有効 EAN-13 アドオンコード 必須



0402100

**無効 N-13 アドオンコード 必須



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

ISSN を工場出荷時設定に戻す



0421000

工場出荷時のデフォルトに戻す of ISSN

ISSN の有効／無効



0421020

有効 ISSN



0421010

** 無効 ISSN



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

アドオンコード

ISSN バーコードは、2 桁または 5 桁のアドオンコードで補完して新しいものを作成することができます。



0421030

有効 2 桁 アドオンコード



0421040

** 無効 2 桁 アドオンコード



0421050

有効 5 桁 アドオンコード



0421060

** 無効 5 桁 アドオンコード

有効 2 桁 / 5 桁 アドオンコード: スキャナーは、2 桁/5 桁のアドオンコードの有無にかかわらず ISSN バーコードの組み合わせを読取りします。

無効 2 桁 / 5 桁 アドオンコード: スキャナは ISSN を読取りし、ISSN + アドオンバーコードが提示されている場合はアドオンコードを無視します。また、アドオンコードなしで ISSN バーコードを読取りすることもできます。

アドオンコード 必須

ISSN アドオンコード必須が選択されている場合、スキャナーはアドオンコードを含む ISSN バーコードのみを読取ります。



0421070

有効 ISSN アドオンコード必須



0421080

**無効 ISSN アドオンコード必須



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

ISBN を工場出荷時設定に戻す



0416000

ISBN を工場出荷時のデフォルトに戻す

ISBN の有効／無効



0416020

** 有効 ISBN



0416010

無効 ISBN

ISBN 形式を設定する



0416030

** ISBN-13



0416040

ISBN-10



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

アドオンコード

ISBN バーコードは、2 桁または 5 桁のアドオンコードで補完して新しいものを作成することができます。



0416050

有効 2 桁 アドオンコード



0416060

** 無効 2 桁 アドオンコード



0416070

有効 5 桁 アドオンコード



0416080

** 無効 5 桁 アドオンコード

有効 2 桁 / 5 桁 アドオンコード: スキャナは、2 桁/5 桁のアドオンコードの有無にかかわらず ISBN バーコードの組み合わせを読み取ります。

無効 2 桁 / 5 桁 アドオンコード: スキャナは ISBN を読み取り、ISBN プラスアドオンバーコードが表示されている場合はアドオンコードを無視します。また、アドオンコードなしで ISBN バーコードを読み取りすることもできます

アドオンコード 必須

ISBN アドオンコード必須が選択されている場合、スキャナはアドオンコードを含む ISBN バーコードのみを読み取ります。



0416090

有効 ISBN アドオンコード必須



0416100

**無効 ISBN アドオンコード必須



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

UPC-E を工場出荷時設定に戻す



0403000

UPC-E を工場出荷時のデフォルトに戻す

UPC-E の有効／無効



0403020

** 有効 UPC-E



0403010

無効 UPC-E

チェックデジットの送信



0403040

**有効 UPC-E チェックデジット転送



0403030

無効 UPC-E チェックデジット転送



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

アドオンコード

UPC-E バーコードは、2桁または5桁のアドオンコードで補完して新しいものを作成することができます。



0403060

有効 2桁 アドオンコード



0403050

** 無効 2桁 アドオンコード



0403080

有効 5桁 アドオンコード



0403070

** 無効 5桁 アドオンコード

有効 2桁 / 5桁 アドオンコード: スキャナは、2桁/5桁のアドオンコードの有無にかかわらず、UPC-E バーコードの組み合わせを読取りします。

無効 2桁 / 5桁 アドオンコード: スキャナはUPC-Eを読取りし、UPC-E プラスアドオンバーコードが表示されている場合はアドオンコードを無視します。また、アドオンコードなしでUPC-E バーコードを読取りすることもできます。

アドオンコード必須

UPC-E アドオンコード必須を選択すると、スキャナーはアドオンコードを含む UPC-E バーコードのみ読取ります。



0403130

有効 UPC-E アドオンコード必須



0403140

** 無効 UPC-E アドオンコード必須



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

システムキャラクターの送信



0403100

**** 有効** システムキャラクターの送信



0403090

無効 システムキャラクターの送信

UPC-E 拡張

無効 UPC-E Extend: UPC-E バーコードをそのまま送信します。

有効 UPC-E Extend: UPC-E バーコードを拡張して、UPC-A との長さで送信します。



0403120

有効 UPC-E Extend



0403110

**** 無効** UPC-E Extend



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

UPC-A を工場出荷時設定に戻す



0404000

UPC-A を工場出荷時のデフォルトに戻す

UPC-A の有効／無効



0404020

** 有効 UPC-A



0404010

無効 UPC-A

チェックデジットの送信



0404040

** 有効 UPC-A チェックデジットの送信



0404030

無効 UPC-A チェックデジットの送信



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

アドオンコード

UPC-A バーコードは、2桁または5桁のアドオンコードで補完して新しいものを作成することができます。



0404060

有効 2桁 アドオンコード



0404050

** 無効 2桁 アドオンコード



0404080

有効 5桁 アドオンコード



0404070

** 無効 5桁 アドオンコード

有効 2桁 / 5桁 アドオンコード: スキャナは、2桁/5桁のアドオンコードの有無にかかわらず、UPC-A バーコードの組み合わせを読み取りします。

無効 2桁 / 5桁 アドオンコード: スキャナは UPC-A を読み取りし、UPC-A プラスアドオンバーコードが表示されている場合はアドオンコードを無視します。また、アドオンコードのない UPC-A バーコードを読み取りすることもできます。

アドオンコード必須

UPC-A アドオンコード必須を選択すると、スキャナは UPC-A バーコードのみを読み取ります。



0404110

有効 UPC-A アドオンコード必須



0404120

**無効 UPC-A アドオンコード必須



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

プリアンブルキャラクターの送信

プリアンブルキャラクター(カントリーコードとシステムキャラクター)は、UPC-A バーコードの一部として送信することができます。UPC-A プリアンブルをホストデバイスに送信するには、システムキャラクタのみを送信するか、システムキャラクタおよび国コード(米国の場合は「0」)を送信するために、次のいずれかのオプションを選択します。



0404100

カントリーコードとシステムキャラクター



0404090

** システムキャラクター



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

Interleaved 2 of 5 を工場出荷時設定に戻す



0405000

Interleaved 2 of 5 を工場出荷時のデフォルトに戻す

Interleaved 2 of 5 の有効／無効



0405020

** 有効 Interleaved 2 of 5



0405010

無効 Interleaved 2 of 5

Interleaved 2 of 5 の文字長 設定



0405030

最小桁数の設定



0405040

最大桁数の設定



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

チェックデジットを確認する

チェックデジットは、Interleaved 2 of 5 ではオプションで、最後の桁として追加することができます。これは、データの整合性を検証するために使用される計算値です。

無効: Interleaved 2 of 5 バーコードをそのまま送信します。

検証後チェックデジットを送信しない: スキャナは、Interleaved 2 of 5 バーコードの整合性をチェックして、データのチェックデジットが正しいかチェックします。チェックに失敗したデータは送信されません。チェックで合致したバーコードは、最後の桁を除いて送信されます。

検証後チェックデジットの送信: スキャナは、Interleaved 2 of 5 バーコードの整合性をチェックして、データのチェックデジットが正しいかチェックします。チェックに失敗したデータは送信されません。チェックで合致したバーコードは、そのまま送信されます。



0405050

** 無効



0405060

検証後チェックデジットを送信しない



0405070

検証後チェックデジットの送信



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

ITF-14

ITF-14 は特別な種類の「Interleaved 2 of 5」で、14 桁の文字と最後の文字はチェックデジットです。



0405260

ITF-14 を工場出荷時のデフォルトに戻す



0405080

無効 ITF-14



0405090

**有効 ITF-14 / 無効 チェックデジットの送信



0405100

有効 ITF-14 / 有効 チェックデジットの送信

注:ITF-14 と Interleaved 2 of 5 を同時に有効にしないことをお勧めします。



0006000

** Exit Setup

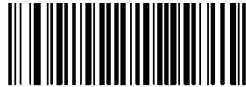


0006010

Enter Setup

ITF-6

ITF-6 は特別な種類の「Interleaved 2 of 5」で、6 桁の文字と最後の文字はチェックデジットです。



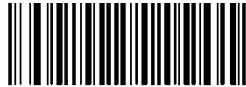
0405270

ITF-6 を工場出荷時のデフォルトに戻す



0405110

** 無効 ITF-6



0405120

有効 ITF-6 / 無効 チェックデジットの送信



0405130

有効 ITF-6 and / 有効 チェックデジットの送信

注:ITF-6 と Interleaved 2 of 5 を同時に有効にしないことをお勧めします。



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

Matrix 2 of 5 を工場出荷時設定に戻す



0406000

Matrix 2 of 5 を工場出荷時のデフォルトに戻す

Matrix 2 of 5 の有効／無効



0406020

有効 Matrix 2 of 5



0406010

** 無効 Matrix 2 of 5

Matrix 2 of 5 の文字長 設定



0406030

最小桁数の設定



0406040

最大桁数の設定



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

チェックデジットの確認



0406050

無効



0406060

**検証後チェックデジットを送信しない



0406070

検証後チェックデジットの送信



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

Industrial 2 of 5 を工場出荷時設定に戻す



0417000

Industrial 2 of 5 を工場出荷時のデフォルトに戻す

Industrial 2 of 5 の有効／無効



0417020

** 有効 Industrial 2 of 5



0417010

無効 Industrial 2 of 5

Industrial 2 of 5 の文字長 設定



0417030

最小桁数の設定



0417040

最大桁数の設定



0006000

** Exit Setup



0006010

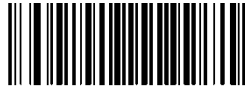
Enter Setup

チェックデジットを確認する



0417050

** 無効



0417070

検証後チェックデジットの送信



0417060

検証後チェックデジットを送信しない



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

Standard 2 of 5 (IATA 2 of 5) を工場出荷時設定に戻す



0418000

Standard 25 を工場出荷時のデフォルトに戻す

Standard 25 の有効／無効



0418020

** 有効 Standard 25



0418010

無効 Standard 25

Standard 25 の文字長 設定



0418030

最小桁数の設定



0418040

最大桁数の設定



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

チェックデジットを確認する



0418050

** 無効



0418070

検証後チェックデジットの送信



0418060

検証後チェックデジットを送信しない



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

Code 39 を工場出荷時設定に戻す



0408000

Code 39 を工場出荷時のデフォルトに戻す

Code 39 の有効／無効



0408020

** 有効 Code 39



0408010

無効 Code 39

スタート・ストップキャラクターの転送



0408090

スタート・ストップキャラクター 転送する



0408080

** スタート・ストップキャラクター 転送しない



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

Code 39 の文字長 設定



0408030

最小桁数の設定



0408040

最大桁数の設定

チェックデジットを確認する



0408050

** 無効



0408070

検証後チェックデジットの送信



0408060

検証後チェックデジットを送信しない

Code 39 Full ASCII の有効／無効

以下の設定により、すべての ASCII コードを識別するようにスキャナを設定することができます。



0408110

** 有効 Code 39 Full ASCII



0408100

無効 Code 39 Full ASCII



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

NW7(コーダーバー)を工場出荷時設定に戻す



0409000

工場出荷時のデフォルトに戻す of Codabar

NW7(コーダーバー)の有効／無効



0409020

** 有効 NW7(コーダーバー)



0409010

無効 NW7(コーダーバー)

NW7(コーダーバー)の文字長 設定



0409030

最小桁数の設定



0409040

最大桁数の設定



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

チェックデジットを確認する



0409050

** 無効



0409070

検証後チェックデジットの送信



0409060

検証後チェックデジットを送信しない

スタート・ストップキャラクターの転送



0409090

スタート・ストップキャラクター 転送する



0409080

** スタート・ストップキャラクター 転送しない



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

スタート・ストップキャラクターのフォーマット

以下の設定により、希望するスタート・ストップキャラクター形式を選択することができます。



0409100

** ABCD/ABCD スタート・ストップキャラクター



0409110

ABCD/TN*E スタート・ストップキャラクター



0409120

** スタット・スナップキャスト 大文字



0409130

スタット・スナップキャスト 小文字



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

Code 93 を工場出荷時設定に戻す



0410000

Code 93 を工場出荷時のデフォルトに戻す

Code 93 の有効／無効



0410020

** 有効 Code 93



0410010

無効 Code 93

Code 93 の文字長 設定



0410030

最小桁数の設定



0410040

最大桁数の設定



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

チェックデジットを確認する



0410050

無効



0410060

** 検証後チェックデジットを送信しない



0410070

検証後チェックデジットの送信



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

GS1-Databar (RSS)を工場出荷時設定に戻す



0413000

GS1-Databar を工場出荷時のデフォルトに戻す

GS1 Databar の有効／無効



0413020

** 有効 GS1-DataBar



0413010

無効 GS1-DataBar

アプリケーション識別子"01" 送信設定



0413060

**有効 アプリケーション識別子 "01" 送信



0413050

無効 アプリケーション識別子 "01" 送信



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

Code 11 を工場出荷時設定に戻す



0415000

Code11 を工場出荷時のデフォルトに戻す

Code 11 の有効／無効



0415020

** 有効 Code 11



0415010

無効 Code 11

Code 11 の文字長 設定



0415030

最小桁数の設定



0415040

最大桁数の設定



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

チェックデジットの送信



0415120

チェックデジットの送信



0415110

** Do Not チェックデジットの送信

チェックデジットを確認する



0415050

無効



0415060

** 一つのチェックデジット, MOD11



0415070

2つのチェックデジット, MOD11/MOD11



0415080

2つのチェックデジット, MOD11/MOD9



0415090

ne チェックデジット, MOD11 (Len<=10)
2つのチェックデジット, MOD11/MOD11 (Len>10)



0415100

一つのチェックデジット, MOD11 (Len<=10)
2つのチェックデジット, MOD11/MOD9 (Len>10)



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

Plessey を工場出荷時設定に戻す



0419000

Plessey を工場出荷時のデフォルトに戻す

Plessey の有効／無効



0419020

** 有効 Plessey



0419010

無効 Plessey

Plessey の文字長 設定



0419030

最小桁数の設定



0419040

最大桁数の設定



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

チェックデジットを確認する



0419050

無効



0419060

** 検証後チェックデジットを送信しない



0419070

検証後チェックデジットの送信



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

MSI-Plessey を工場出荷時設定に戻す



0420000

MSI-Plessey を工場出荷時のデフォルトに戻す

MSI-Plessey の有効／無効



0420020

** 有効 MSI-Plessey



0420010

無効 MSI-Plessey

MSI-Plessey の文字長 設定



0420030

最小桁数の設定



0420040

最大桁数の設定



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

チェックデジットの送信



0420100

有効 チェックデジット 送信



0420090

**無効 チェックデジット 送信

チェックデジットを確認する



0420050

無効



0420060

** 一つのチェックデジット, MOD10



0420070

2つのチェックデジット, MOD10/MOD10



0420080

2つのチェックデジット, MOD10/MOD11



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

2D バーコード

PDF417 を工場出荷時設定に戻す



0501000

PDF417 を工場出荷時のデフォルトに戻す

PDF417 の有効／無効



0501020

****有効** PDF417



0501010

無効 PDF417

PDF417 の文字長 設定



0501030

最小桁数の設定



0501040

最大桁数の設定



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

PDF417 ツインコード

PDF417 ツインコードは、縦または横に平行に並んだ 2 つの PDF417 バーコードです。

PDF417 ツインコードは、PDF417 を密接に配置しなければなりません。

密接に配置しなければなりません。

PDF417 ツインコードを読むための 3 つのオプションがあります：

PDF417 単一のみ：PDF417 コードを読みます。

PDF417 ツインコードのみ：PDF417 コードをツインコード読みます。

シングル&ツイン：両方の PDF417 コードを読みます。



0501070

**** PDF417 シングルコードのみ**



0501080

PDF417 ツインコードのみ



0501090

シングル&ツイン

ツインコードの送信順序

順序1：最初に詳細情報含むデータを送信します。

順序2：最初に詳細情報含まないデータを送信します。



0501110

****順序1**



0501100

順序2



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

QR Code を工場出荷時設定に戻す



0502000

QR Code を工場出荷時のデフォルトに戻す

QR code の有効／無効



0502020

** 有効 QR Code



0502010

無効 QR Code

QR Code の文字長 設定



0502030

最小桁数の設定



0502040

最大桁数の設定

Micro QR



0502110

** 有効 Micro QR



0502100

無効 Micro QR



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

QR ツインコード

QR ツインコードは、縦または横に平行に並んだ 2 つの QR バーコードです。

QR ツインコードは、QR コードを密接に配置しなければなりません。

QR ツインコードを読むための 3 つのオプションがあります：

QR 単一のみ: QR コードを読みます。

QR ツインコードのみ: QR コードをツインコード読みます。

シングル&ツイン: 両方の QR コードを読みます。



0502070

****シングル QR のみ**



0502080

ツイン QR のみ



0502090

シングル&ツイン



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

ツインコードの送信順序

順序 1:最初に詳細情報を含むものを送信します。

順序 2:情報量の少ないものを最初に送信します。

順序 3:ツインコードが水平に並んでいる場合は、最初に左に送信します。上下に平行になっている場合は、まず上側の位置に送信します。



0502140

順序 1



0502130

順序 2



0502120

**** 順序 3**



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

Data Matrix を工場出荷時設定に戻す



0504000

Data Matrix を工場出荷時のデフォルトに戻す

有効／無効 Data Matrix



0504020

** 有効 Data Matrix



0504010

無効 Data Matrix

Data Matrix の文字長 設定



0504030

最小桁数の設定



0504040

最大桁数の設定



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

長方形タイプ 設定



0504110

** 有効 長方形タイプ設定



0504100

無効 長方形タイプ設定

ミラー イメージの読取り



0504331

** 有効 ミラーイメージ 読取り



0504330

無効 ミラーイメージ 読取り



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup

Data Matrix ツインコード

Data Matrix ツインコードは、縦または横に平行に並んだ 2 つの Data Matrix バーコードです。

Data Matrix ツインコードは、Data Matrix コードを密接に配置しなければなりません。

Data Matrix ツインコードを読むための 3 つのオプションがあります：

Data Matrix 単一のみ：Data Matrix コードを読みます。

Data Matrix ツインコードのみ：Data Matrix コードをツインコード読みます。

送信順序：左側（上の位置）に続いて右側（下の位置）にある Data Matrix コード。

シングル&ツイン：両方の Data Matrix コードを読みます。



0504070

**** Data Matrix 単一のみ**



0504080

Data Matrix ツインコードのみ



0504090

シングル&ツイン：



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

第九章 イメージコントロール

照明環境による設定

周囲の照明条件(明るさ)により、コードを読取り難い場合設定を変更します

設定は基本設定(屋内～屋外のほぼ全ての環境 0～60,000Lux で利用可能)と、

高照度設定(屋外や強力な 60,000～12,000Lux 光源下での使用)になります。



0313150

**** 基本設定(0～60000lux)**



0313151

高照度下設定(60000～120000lux)



0006000

**** Exit Setup**



0006010

Enter Setup

画像の反転

以下の設定でスキャナでキャプチャした画像を反転することができます。



反転しない



水平方向に反転



垂直方向に反転



水平方向と垂直方向に反転



0006000

** Exit Setup



0006010

Enter Setup



0202000

** 反転しない



0202030

垂直方向に反転



0202031

水平方向に反転



0202032

水平方向と垂直方向に反転

垂直方向に反転



0202033

有効 垂直方向に反転



0202034

無効 垂直方向に反転

水平方向に反転



0202035

有効 水平方向に反転



0202036

無効 水平方向に反転



0006000

** Exit Setup

第十章 トラブルシューティング

FAQ

Q:一部のバーコードを読み取ることができません。

A:

1. バーコードタイプを確認し、バーコードタイプが有効であることを確認します。設定にチェックデジットの確認が含まれている場合は、「無効」を選択します。
2. バーコードタイプがわからない場合は、すべてのシンボルを有効にします。
3. 反転バーコード(暗い背景の白いバーコード)の場合は、ビデオリバーブ機能を有効にします。

Q:: 出力が正しくありません。

A:

1. この問題がすべてのバーコードとバーコードデータの前後に表示される場合は、すべてのプリフィックス/サフィックスを無効にします。
2. この問題が一部のバーコードのみで発生し、次のいずれかの状況に該当する場合:
 - A) バーコードデータが不完全な場合:チェックデジット確認を有効にします。
 - B) 最初と最後の文字はアスタリスク(*)の場合:Code 39 のスタート・ストップ・キャラクターの送信を無効にします。
 - C) "a"が"+ A"として送信される場合:Code 39 の Full ASCII コード設定を有効にする。

Q: バーコードを読み取ることはできますが、表示することはできません。

A: シリアルポートパラメータ(ボーレート、データビット、ストップビットなど)の設定がホストの要件と一致していることを確認します。

Q: イルミネーションビームが無効です。

A:

1. バーコードリーダーの電源が正しく入っていることを確認します。
2. 「？」をバーコードリーダーに送信します。バーコードリーダーが "!" の応答を返す場合は、プログラミングコマンドを送信してイルミネーションをオンにします。

Q: キャリッジリターン/ラインフィード設定。

A:

第 7 章の「終端文字」を参照してください。

付録

付録 1:工場出荷時の設定

パラメータ		工場出荷時の設定	リマーク
プログラミングバーコード			
プログラミングバーコード		無効	
バーコードデータのプログラミング		送信しない	
通信設定			
RS-232	ボーレート	9600	
	パリティチェック	なし	
	データビット	8	
	ストップビット	1	
	ハードウェアフロー制御	フロー制御なし	
HID-KBW	キーボード言語設定	JAPAN	
	コンバートケース	変換なし	
	キーストローク デイレイ	10ms	
	不明な文字のビープ音設定	ビープ音を鳴らさない	
	エミュレート Alt +キーパッド	無効	
	ファンクションキーマッピング	無効	
	テンキーパッドエミュレート	無効	
	コードページ	Windows 1252 (Latin I)	
スキャンモード			
デフォルトのスキャンモード		センスモード	
マニュアル モード	読取りモード タイムアウト	3,000ms	マニュアルモード、センスモード、連続モードに対応しています。 100～3,600,000ms; 0:無限
	トリガー条件	レベルトリガー	
	読取り時のタイムアウト (同じバーコード)	無効	0~65,535ms
		1,500ms	

パラメータ		工場出荷時の設定	リマーク
センスモード	読取りモード タイムアウト	3,000ms	マニュアルモード、センスモード、連続モードに適用されます。 100～3,600,000ms; 0:無限
	画像安定化タイムアウト	100ms	0～1,600ms
	読取り時のタイムアウト	200ms	センスモード、連続モードに適用されます。0～65,535ms
	読取り時のタイムアウト (同じバーコード)	無効 1,500ms	0～65,535ms
	イルミネーションのしきい値	2	1～20
連続モード	読取りモード タイムアウト	3,000ms	マニュアルモード、センスモード、連続モードに適用されます。 100～3,600,000ms; 0:無限
	読取り時のタイムアウト	200ms	センスモード、連続モードに適用されます。0～65,535ms
スキャン設定			
読取り領域		全領域読取り	
読取り領域を指定する		上 40%、下 60%、 左 40%、右 60%	
イルミネーション			
イルミネーション		通常	
ビープ音と LED 通知			
電源投入時のビープ音設定		有効	
読取り成功時ビープ音設定 (プログラミングバーコード)	通知	有効	
	ビープ タイプ	タイプ 3	
	ビープ 音量	音量 大	
バーコードを読み込むためのビープ音		有効	
読取り成功時 音量		音量 大	
読取り成功時 LED		有効	
バッドメッセージを読む		送信しない	
		なし	

パラメータ	工場出荷時の設定	リマーク
プリフィックス & サフィックス		
プリフィックスシーケンス	カスタムプリフィックス+コード ID + AIM ID	
カスタムプリフィックス	無効	
	なし	
AIM ID	無効	
Code ID	無効	
カスタムサフィックス	無効	
	なし	
終端文字	有効	
	0x0D,0x0A	CRLF
イメージコントロール		
Ambient イルミネーション	標準照度	
画像の反転	反転しない。	

パラメータ	工場出荷時の設定	リマーク
Symbolologies		
ビデオリバーズ	無効	2D バーコード 対応
Code 128		
Code 128	有効	
最大桁数	127	
最小桁数	1	
GS1-128(UCC/EAN-128)		
GS1-128	有効	
最大桁数	127	
最小桁数	1	
AIM-128		
AIM-128	有効	
最大桁数	127	
最小桁数	1	
EAN-8		
EAN-8	有効	
チェックデジット	送信する	
2 桁 アドオンコード	無効	
5 桁 アドオンコード	無効	
アドオンコード	不要	
EAN-13 拡張コード	無効	
EAN-13		
EAN-13	有効	
チェックデジット	送信する	
2 桁 アドオンコード	無効	
5 桁 アドオンコード	無効	
アドオンコード	不要	
ISSN		
ISSN	無効	
2 桁 アドオンコード	無効	
5 桁 アドオンコード	無効	
アドオンコード	不要	

パラメータ	工場出荷時の設定	リマーク
ISBN		
ISBN	有効	
ISBN Format	ISBN-13	
2桁 アドオンコード	無効	
5桁 アドオンコード	無効	
アドオンコード	不要	
UPC-E		
UPC-E	有効	
チェックデジット	送信する	
2桁 アドオンコード	無効	
5桁 アドオンコード	無効	
アドオンコード	不要	
UPC-A 拡張コード	無効	
システムキャラクター “0”	送信する	
UPC-A		
UPC-A	有効	
チェックデジット	送信する	
2桁 アドオンコード	無効	
5桁 アドオンコード	無効	
アドオンコード	不要	
システムキャラクター	送信する	
国コード	送信しない	
Interleaved 2 of 5		
Interleaved 2 of 5	有効	
チェックデジット確認	無効	
チェックデジット	送信しない	
最大桁数	100	
最小桁数	6	
ITF-6		
ITF-6	無効	
チェックデジット	送信しない	

パラメータ	工場出荷時の設定	リマーク
ITF-14		
ITF-14	有効	
チェックデジット	送信しない	
Matrix 2 of 5		
Matrix 2 of 5	無効	
チェックデジット確認	有効	
チェックデジット	送信しない	
最大桁数	127	
最小桁数	6	
Industrial 2 of 5		
Industrial 2 of 5	有効	
チェックデジット確認	無効	
チェックデジット	送信しない	
最大桁数	127	
最小桁数	6	
Standard 2 of 5		
Standard 2 of 5	有効	
チェックデジット確認	無効	
チェックデジット	送信しない	
最大桁数	127	
最小桁数	6	
Code 39		
Code 39	有効	
チェックデジット確認	無効	
チェックデジット	送信しない	
スタート・ストップキャラクター	送信しない	
Code 39 Full ASCII	有効	
最大桁数	127	
最小桁数	2	

パラメータ	工場出荷時の設定	リマーク
NW7(コーダーバー)		
NW7(コーダーバー)	有効	
チェックデジット確認	無効	
チェックデジット	送信しない	
スタート・ストップキャラクター	送信しない	
スタート・ストップキャラクター フォーマット	ABCD/ABCD(大文字)	
最大桁数	127	
最小桁数	2	
Code 93		
Code 93	有効	
チェックデジット確認	有効	
チェックデジット	送信しない	
最大桁数	127	
最小桁数	3	
GS1 Databar		
GS1 Databar	有効	
アプリケーション識別子 “01”	送信する	
Code 11		
Code 11	有効	
チェックデジット確認	一つのチェックデジット, MOD11	
チェックデジット	送信しない	
最大桁数	127	
最小桁数	2	
Plessey		
Plessey	有効	
チェックデジット確認	有効	
チェックデジット	送信しない	
最大桁数	127	
最小桁数	1	

パラメータ	工場出荷時の設定	リマーク
MSI-Plessey		
MSI-Plessey	有効	
チェックデジット確認	一つのチェックデジット, MOD10	
チェックデジット	送信しない	
最大桁数	127	
最小桁数	2	
PDF417		
PDF417	有効	
最大桁数	2710	
最小桁数	1	
PDF417 ツインコード	PDF417 コード単一のみ	
ツインコードの送信順序	順序 1	
QR Code		
QR Code	有効	
Micro QR	有効	
最大桁数	7089	
最小桁数	1	
QR ツインコード	QR コード単一のみ	
ツインコードの送信順序	順序 3	
Data Matrix		
Data Matrix	有効	
長方形のバーコード	有効	
ミラーイメージ	有効	
最大桁数	3116	
最小桁数	1	
DM ツインコード	DM 単一のみ	

付録 2: AIM ID テーブル

シンボル	AIM ID	備考
EAN-13	JE0	標準 EAN-13
	JE3	EAN-13 + 2/5 桁 アドオンコード
EAN-8	JE4	標準 EAN-8
	JE4...JE1...	EAN-8 + 2 桁 アドオンコード
	JE4...JE2...	EAN-8 + 5 桁 アドオンコード
UPC-E	JE0	標準 UPC-E
	JE3	UPC-E + 2/5 桁 アドオンコード
UPC-A	JE0	標準 UPC-A
	JE3	UPC-A + 2/5 桁 アドオンコード
Code 128	JC0	標準 Code 128
GS1-128 (UCC/EAN-128)	JC1	FNC1 は、スタートキャラクターから 1 桁目
AIM-128	JC2	FNC1 は、スタートキャラクターから 2 桁目
Interleaved 2 of 5	JI0	検証後チェックデジットを送信しない
	JI1	検証後チェックデジットの送信
	JI3	検証後チェックデジットを送信しない
ITF-6	JI1	チェックデジットの送信
	JI3	チェックデジットを送信しない
ITF-14	JI1	チェックデジットの送信
	JI3	チェックデジットを送信しない
Industrial 2 of 5	JS0	指定なし
Standard 2 of 5	JR0	チェックデジット確認しない
	JR8	MOD10; チェックデジットを送信しない
	JR9	MOD10; チェックデジットの送信
Code 39	JA0	バーコードをそのまま送信します。Full ASCII 無効。
	JA1	MOD43; チェックデジットの送信
	JA3	MOD43; チェックデジットを送信しない
	JA4	Full ASCII 有効; チェックデジットを送信しない
	JA5	Full ASCII 有効; チェックデジットの送信
	JA7	Full ASCII 有効; チェックデジットを送信しない
NW7(コーダーバー)	JF0	標準 NW7(コーダーバー)
	JF2	検証後チェックデジットの送信
	JF4	検証後チェックデジットを送信しない

シンボル	AIM ID	備考
Code 93	JG0	標準 Code 93
Code 11	JH0	一つのチェックデジット, MOD11; チェックデジットの送信
	JH1	2つのチェックデジット, MOD11/MOD11; チェックデジットの送信
	JH3	検証後チェックデジットを送信しない
	JH9	検証後チェックデジットを送信しない
GS1-DataBar	Je0	標準 GS1-DataBar
Plessey	JP0	標準 Plessey
MSI-Plessey	JM0	MOD10; チェックデジットの送信
	JM1	MOD10; do not チェックデジットの送信
	JM8	MOD10/ MOD11; チェックデジットの送信しない
	JM9	MOD10/ MOD11; チェックデジットの送信
Matrix 2 of 5	JX0	工場指定
	JX1	チェックデジット確認をしない
	JX2	MOD10; チェックデジットの送信
	JX3	MOD11; do not チェックデジットの送信
ISBN	JX4	標準 ISBN
ISSN	JX5	標準 ISSN
PDF417	JL0	1994 年の PDF417 仕様に準拠
Data Matrix	Jd0	ECC000 - ECC140
	Jd1	ECC200
	Jd2	ECC200, FNC1 は、スタートキャラクターから 1～5 桁目
	Jd3	ECC200, FNC1 は、スタートキャラクターから 2～6 桁目
	Jd4	ECC200, ECI を含む
	Jd5	ECC200, FNC1 は、スタートキャラクターから 1～5 桁目・ECI を含む
	Jd6	ECC200, FNC1 は、スタートキャラクターから 2～6 桁目・ECI を含む
QR Code	JQ0	QR1
	JQ1	2005 バージョン, ECI 除外
	JQ2	2005 バージョン, ECI 含む
	JQ3	QR Code 2005, ECI 除外, FNC1 は、スタートキャラクターから 1 桁目 character
	JQ4	QR Code 2005, ECI 含む, FNC1 は、スタートキャラクターから 1 桁目 character
	JQ5	QR Code 2005, ECI 除外, FNC1 は、スタートキャラクターから 2 桁目 haracter
	JQ6	QR Code 2005, ECI 含む, FNC1 は、スタートキャラクターから 2 桁目

参照: ISO / IEC 15424:2008 情報技術 - 自動識別およびデータキャプチャ技術 - データキャリア識別子 (記号識別子を含む)。

付録3:コード ID テーブル

シンボル	Code ID
Code 128	j
GS1-128(UCC/EAN-128)	j
AIM-128	f
EAN-8	d
EAN-13	d
ISSN	n
ISBN	B
UPC-E	c
UPC-A	c
Interleaved 2 of 5	e
ITF-6	e
ITF-14	e
Matrix 2 of 5	v
Industrial 2 of 5	D
Standard 2 of 5	s
Code 39	b
NW7(コーダーバー)	a
Code 93	i
Code 11	H
Plessey	p
MSI-Plessey	m
GS1 Databar	R
PDF 417	r
QR Code	Q
Data Matrix	u

付録 4:ASCII テーブル

Hex	Dec	Char
00	0	NUL (Null char.)
01	1	SOH (Start of Header)
02	2	STX (Start of Text)
03	3	ETX (End of Text)
04	4	EOT (End of Transmission)
05	5	ENQ (Enquiry)
06	6	ACK (Acknowledgment)
07	7	BEL (Bell)
08	8	BS (Backspace)
09	9	HT (Horizontal Tab)
0a	10	LF (Line Feed)
0b	11	VT (Vertical Tab)
0c	12	FF (Form Feed)
0d	13	CR (Carriage Return)
0e	14	SO (Shift Out)
0f	15	SI (Shift In)
10	16	DLE (Data Link Escape)
11	17	DC1 (XON) (Device Control 1)
12	18	DC2 (Device Control 2)
13	19	DC3 (XOFF) (Device Control 3)
14	20	DC4 (Device Control 4)
15	21	NAK (Negative Acknowledgment)
16	22	SYN (Synchronous Idle)
17	23	ETB (End of Trans. Block)
18	24	CAN (Cancel)
19	25	EM (End of Medium)
1a	26	SUB (Substitute)
1b	27	ESC (Escape)
1c	28	FS (File Separator)
1d	29	GS (Group Separator)

Hex	Dec	Char
1e	30	RS (Request to Send)
1f	31	US (Unit Separator)
20	32	SP (Space)
21	33	! (Exclamation Mark)
22	34	" (Double Quote)
23	35	# (Number Sign)
24	36	\$ (Dollar Sign)
25	37	% (Percent)
26	38	& (Ampersand)
27	39	` (Single Quote)
28	40	((Left/ Opening Parenthesis)
29	41	) (Right/ Closing Parenthesis)
2a	42	* (Asterisk)
2b	43	+ (Plus)
2c	44	, (Comma)
2d	45	- (Minus/ Dash)
2e	46	. (Dot)
2f	47	/ (Forward Slash)
30	48	0
31	49	1
32	50	2
33	51	3
34	52	4
35	53	5
36	54	6
37	55	7
38	56	8
39	57	9
3a	58	: (Colon)
3b	59	; (Semi-colon)
3c	60	< (Less Than)
3d	61	= (Equal Sign)

Hex	Dec	Char
3e	62	> (Greater Than)
3f	63	? (Question Mark)
40	64	@ (AT Symbol)
41	65	A
42	66	B
43	67	C
44	68	D
45	69	E
46	70	F
47	71	G
48	72	H
49	73	I
4a	74	J
4b	75	K
4c	76	L
4d	77	M
4e	78	N
4f	79	O
50	80	P
51	81	Q
52	82	R
53	83	S
54	84	T
55	85	U
56	86	V
57	87	W
58	88	X
59	89	Y
5a	90	Z
5b	91	[(Left/ Opening Bracket)
5c	92	¥ (Back Slash)
5d	93	] (Right/ Closing Bracket)

Hex	Dec	Char
5e	94	^ (Caret/ Circumflex)
5f	95	_ (Underscore)
60	96	' (Grave Accent)
61	97	a
62	98	b
63	99	c
64	100	d
65	101	e
66	102	f
67	103	g
68	104	h
69	105	i
6a	106	j
6b	107	k
6c	108	l
6d	109	m
6e	110	n
6f	111	o
70	112	p
71	113	q
72	114	r
73	115	s
74	116	t
75	117	u
76	118	v
77	119	w
78	120	x
79	121	y
7a	122	z
7b	123	{ (Left/ Opening Brace)
7c	124	(Vertical Bar)
7d	125	} (Right/ Closing Brace)
7e	126	~ (Tilde)
7f	127	DEL (Delete)

付録 5: パラメータプログラミングの例

次の例は、プログラミングバーコードをスキャンしてパラメータをプログラムする方法を示しています。

A. 読取り時モードタイムアウトをプログラムする

例: 読取り時のタイムアウトを 1500ms に設定する場合

1. Enter Setup バーコードをスキャンします。
2. 読取り時モードタイムアウトバーコードをスキャンします。（第 3 章の「読取り時のタイムアウト」を参照）
3. 数字のバーコード「1」、「5」、「0」、「0」をスキャンします。
4. 保存バーコードをスキャンします。
5. Exit Setup バーコードをスキャンします。（まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください）。

B. 画像安定化タイムアウトをプログラムする

例: 画像安定化タイムアウトを 500ms に設定する

1. Enter Setup バーコードをスキャンします。
2. 画像安定化タイムアウトバーコードをスキャンします。（第 3 章の「イメージ安定化のタイムアウト」を参照）
3. 数字のバーコード「5」、「0」、「0」をスキャンします。
4. 保存バーコードをスキャンします。
5. Exit Setup バーコードをスキャンします。（まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください）。

C. 読取り時のタイムアウトをプログラムする(同じバーコード)

例: 読取り時のタイムアウト(同じバーコード)を 1000ms に設定する

1. Enter Setup バーコードをスキャンします。
2. 読取り(同じバーコード)バーコード間のタイムアウトをスキャンします。（第 3 章の「読取り時のタイムアウト(同じバーコード)」を参照）
3. 数字のバーコード「1」、「0」、「0」、「0」をスキャンします。
4. 保存バーコードをスキャンします。
5. Exit Setup バーコードをスキャンします。（まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください）。

D.イルミネーション変更のしきい値を設定する

例:イルミネーションのしきい値を 4 に変更する

1. Enter Setup バーコードをスキャンします。
- 2.イルミネーションのしきい値をスキャンします。バーコードを変更します。（第 3 章の「感度」を参照）
- 3.数字のバーコード「4」をスキャンします。
- 4.保存バーコードをスキャンします。
5. Exit Setup バーコードをスキャンします。（まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください）。

E.読取り時のタイムアウトをプログラムする

例:読取り時のタイムアウトを 500ms に設定する

1. Enter Setup バーコードをスキャンします。
- 2.読取りバーコード間のタイムアウトをスキャンします。（第 3 章の「読取り時のタイムアウト」を参照）
- 3.数字のバーコード「5」、「0」、「0」をスキャンします。
- 4.保存バーコードをスキャンします。
5. Exit Setup バーコードをスキャンします。（まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください）。

F.読取り領域をプログラムする

例:読取り領域を上 20%、下 80%、左 20%、右 80%に設定します。

1. Enter Setup バーコードをスキャンします。
2. 特定領域のバーコードを読取ります。(第 4 章の「特定領域の読取り」を参照)
3. 読取り領域バーコードの先頭をスキャンします。(第 4 章の「読取り領域の指定」を参照)
4. 数字のバーコード「2」と「0」をスキャンします。
5. 保存バーコードをスキャンします。
6. 読取り領域のバーコードの下をスキャンします。
7. 数字のバーコード「8」と「0」をスキャンします。
8. 保存バーコードをスキャンします。
9. 読取り領域バーコードの左側をスキャンします。
10. 数字のバーコード「2」と「0」をスキャンします。
11. 保存バーコードをスキャンします。
12. 読取り領域バーコードの権利をスキャンします。
13. 数字のバーコード「8」と「0」をスキャンします。
14. 保存バーコードをスキャンします。
15. Exit Setup バーコードをスキャンします。
(まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください)。

G.カスタムプリフィックス／サフィックスをプログラムする

例:カスタムプリフィックスを "CODE"に設定する

1. ASCII テーブルの "CODE"の 16 進値を確認します。 (「CODE」:43,4F、44,45)
 2. Enter Setup バーコードをスキャンします。
 3. Set Custom プリフィクスバーコードをスキャンします。(第 7 章の「カスタム・プリフィックスの設定」の項を参照してください)
 4. 数字のバーコード「4」、「3」、「4」、「F」、「4」、「4」、「4」、「5」をスキャンします。
 5. 保存バーコードをスキャンします。
 6. Exit Setup バーコードをスキャンします。(まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください)。
-

H. 終端文字をプログラムする

例: 終端文字を 0x0D に設定する

1. Enter Setup バーコードをスキャンします。
2. Set 終端文字バーコードをスキャンします。(第 7 章の「終端文字の設定」を参照)
3. 数字のバーコード「0」と「D」をスキャンします。
4. 保存バーコードをスキャンします。
5. Exit Setup バーコードをスキャンします。(まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください)。

I. コード ID をプログラムする

例: PDF 417 のコード ID を "p" に設定する

1. ASCII テーブルの "p" の 16 進値を確認します。([p]:70)
2. Enter Setup バーコードをスキャンします。
3. PDF417 コード ID バーコードの変更をスキャンします。(第 7 章の「コード ID の変更」を参照)
4. 数字のバーコード「7」と「0」をスキャンします。
5. 保存バーコードをスキャンします。
6. Exit Setup バーコードをスキャンします。(まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください)。

J. 不正な読取りメッセージをプログラムする

例: 不正な読取りメッセージを「! ERR」に設定する

1. ASCII テーブルの "! ERR" の 16 進値を確認します。([! ERR]:21,45,52,52)
2. Enter Setup バーコードをスキャンします。
3. Set Bad Read Message バーコードをスキャンします。(第 6 章の「Bad Read メッセージの設定」を参照)
4. 数字のバーコード「2」、「1」、「4」、「5」、「5」、「2」、「5」、「2」をスキャンします。
5. 保存バーコードをスキャンします。
6. Exit Setup バーコードをスキャンします。(まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください)。

K. コードページをプログラムする

例:コードページを Windows 1251 (キリル文字) に設定する

1. Enter Setup バーコードをスキャンします。
- 2.コードページのバーコードを設定します。(第 2 章の「コードページ」を参照)
- 3.数字のバーコード「1」をスキャンします。
- 4.保存バーコードをスキャンします。
5. Exit Setup バーコードをスキャンします。(まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください)。

L. 記号の長さの範囲(最大長/最小長)をプログラムする

注:最小長が最大長より長く設定されている場合、エンジンは最小または最大長のバーコードのみを読み取りします。特定の長さのバーコードのみを読み取る場合は、最小長と最大長の両方を希望の長さに設定します。

例:8~12 文字のコード 128 のバーコードを読み取りするようにエンジンを設定する

1. Enter Setup バーコードをスキャンします。
2. [最小長の設定]バーコードをスキャンします。(第 7 章の「コード 128 の長さ範囲の設定」を参照)
- 3.数字のバーコード「8」をスキャンします。
- 4.保存バーコードをスキャンします。
5. [最大長の設定]バーコードをスキャンします。(第 7 章の「コード 128 の長さ範囲の設定」を参照)
- 6.数字のバーコード「1」と「2」をスキャンします。
- 7.保存バーコードをスキャンします。
8. Exit Setup バーコードをスキャンします。(まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください)。

M.スタムインターキーストロークの遅延をプログラムする

例:キー間遅延を 5ms に設定する

1. Enter Setup バーコードをスキャンします。
2. カスタム遅延バーコードをスキャンします。(第 2 章の「キーストローク間遅延」を参照)
3. 数字のバーコード「0」と「5」をスキャンします。
4. Exit Setup バーコードをスキャンします。(まだ他のパラメータ/機能をプログラムする必要がある場合は、この手順をスキップしてください)。

付録6:桁数バーコード

0 – 9



0



5



1



6



2



7



3



8



4



9

A – F



A



B



C



D



E



F

付録 7: バーコードの保存/取り消し

数字のバーコードを読み取ったら、保存するために保存バーコードをスキャンする必要があります。間違った数字をスキャンする場合は、キャンセルバーコードをスキャンして設定をもう一度開始するか、最後の数字を削除するバーコードをスキャンしてから正しい数字をスキャンしてください。

全桁削除バーコードをスキャンしてから、必要な数字をスキャンします。

たとえば、最大桁数のバーコードと数字のバーコード「1」、「2」、「3」を読み取った後、次のようにスキャンします。

たとえば、最大長のバーコードと数字のバーコード「1」、「2」、「3」を読み取った後、次のようにスキャンします。

- 最後の桁を削除: 最後の桁 "3" が削除されます。
- 全桁削除: すべての数字「123」が削除されます。
- キャンセル: 最大桁数の設定がキャンセルされます。 スキャナはまだセットアップモードになっています。



保存



最後の桁を削除



全桁削除



キャンセル

付録 8: ASCII ファンクションキーマッピングテーブル

ASCII ファンクション	ASCII Value	ファンクション	ファンクション
NUL (Null char.)	00	Null	Ctrl+2
SOH (Start of Header)	01	Keypad Enter	Ctrl+A
STX (Start of Text)	02	Caps Lock	Ctrl+B
ETX (End of Text)	03	Null	Ctrl+C
EOT (End of Transmission)	04	Null	Ctrl+D
ENQ (Enquiry)	05	Null	Ctrl+E
ACK (Acknowledgment)	06	Null	Ctrl+F
BEL (Bell)	07	Enter	Ctrl+G
BS (Backspace)	08	Left Arrow	Ctrl+H
HT (Horizontal Tab)	09	Horizontal Tab	Ctrl+I
LF (Line Feed)	0A	Down Arrow	Ctrl+J
VT (Vertical Tab)	0B	Vertical Tab	Ctrl+K
FF (Form Feed)	0C	Delete	Ctrl+L
CR (Carriage Return)	0D	Enter	Ctrl+M
SO (Shift Out)	0E	Insert	Ctrl+N
SI (Shift In)	0F	Esc	Ctrl+O
DLE (Data Link Escape)	10	F11	Ctrl+P
DC1 (XON) (Device Control 1)	11	Home	Ctrl+Q
DC2 (Device Control 2)	12	Print Screen	Ctrl+R
DC3 (XOFF) (Device Control 3)	13	Backspace	Ctrl+S
DC4 (Device Control 4)	14	tab+shift	Ctrl+T
NAK (Negative Acknowledgment)	15	F12	Ctrl+U
SYN (Synchronous Idle)	16	F1	Ctrl+V
ETB (End of Trans. Block)	17	F2	Ctrl+W
CAN (Cancel)	18	F3	Ctrl+X
EM (End of Medium)	19	F4	Ctrl+Y
SUB (Substitute)	1A	F5	Ctrl+Z
ESC (Escape)	1B	F6	See the following table
FS (File Separator)	1C	F7	
GS (Group Separator)	1D	F8	
RS (Request to Send)	1E	F9	
US (Unit Separator)	1F	F10	

ASCII ファンクションキーマッピングテーブル(続き)

前の表の最後の 5 文字のファンクションキーのマッピングは、キーボードレイアウトにより異なります。

国/キーボード・ レイアウト	ファンクションキーマッピング				
	1B	1C	1D	1E	1F
アメリカ	Ctrl+[	Ctrl+¥	Ctrl+]	Ctrl+6	Ctrl+-
ベルギー	Ctrl+[	Ctrl+<	Ctrl+]	Ctrl+6	Ctrl+-
スカンジナビア	Ctrl+8	Ctrl+<	Ctrl+9	Ctrl+6	Ctrl+-
フランス	Ctrl+^	Ctrl+8	Ctrl+\$	Ctrl+6	Ctrl+=
ドイツ		Ctrl+Ã	Ctrl++	Ctrl+6	Ctrl+-
イタリア		Ctrl+¥	Ctrl++	Ctrl+6	Ctrl+-
スイス		Ctrl+<	Ctrl+.	Ctrl+6	Ctrl+-
イギリス	Ctrl+[	Ctrl+ ¢	Ctrl+]	Ctrl+6	Ctrl+-
デンマーク	Ctrl+8	Ctrl+¥	Ctrl+9	Ctrl+6	Ctrl+-
ノルウェー	Ctrl+8	Ctrl+¥	Ctrl+9	Ctrl+6	Ctrl+-
スペイン	Ctrl+[	Ctrl+¥	Ctrl+]	Ctrl+6	Ctrl+-

付録 9:コードページリスト

必要な数値バーコード	コードページ
0	Windows 1252 (Latin I)
1	Windows 1251 (Cyrillic)

